

令和2年度（2020年度）

事業報告書

（2020年4月1日から2021年3月31日まで）



2021年5月20日

学校法人 帝塚山学院

目 次

I 法人の概要

1	設置する学校・学部・学科等	P 1
2	学校法人組織構成図	P 2
3	学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要	P 3
4	役員・教職員の概要	P 5
	（1）理事会	
	（2）評議員会	
	（3）教職員数	
	別表 1	P 8

II 法人事業の概要

1	本学院の状況	P12
---	--------	-----

III 2020年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

1	法人本部	P15
2	幼稚園	P20
3	小学校	P23
4	泉ヶ丘中学校高等学校	P27
5	中学校高等学校	P32
6	大学・大学院	P35
7	2020年度学生異動及び卒業生の進路	P44

IV 財務の概要

1	2020年度決算の概要	P56
	(1) 財産目録	
	(2) 資金収支計算書	
	(3) 活動区分資金収支計算書	
	(4) 事業活動収支計算書	
	(5) 貸借対照表	
	(6) 収益事業 貸借対照表	
	(7) 収益事業 損益計算書	
2	経年比較	P66
	(1) 資金収支の推移	
	(2) 事業活動収支の推移	
	(3) 貸借対照表の推移	
	(4) 財務比率表の推移	

I 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

(1) 帝塚山学院幼稚園 (園長: 田中 幸枝)

(2) 帝塚山学院小学校 (校長: 神原 利浩)

(3) 帝塚山学院中学校 (校長: 瀧山 恵)

(4) 帝塚山学院高等学校 (校長: 瀧山 恵)

(5) 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (校長: 江口 宗茂)

(6) 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 (校長: 江口 宗茂)

(7) 帝塚山学院大学 (学長: 津田 謹輔)

学部

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

人間科学部

キャリア英語学科
(2020年4月より募集停止)

情報メディア学科
(2020年4月より募集停止)

心理学科

食物栄養学科

大学院

人間科学研究科

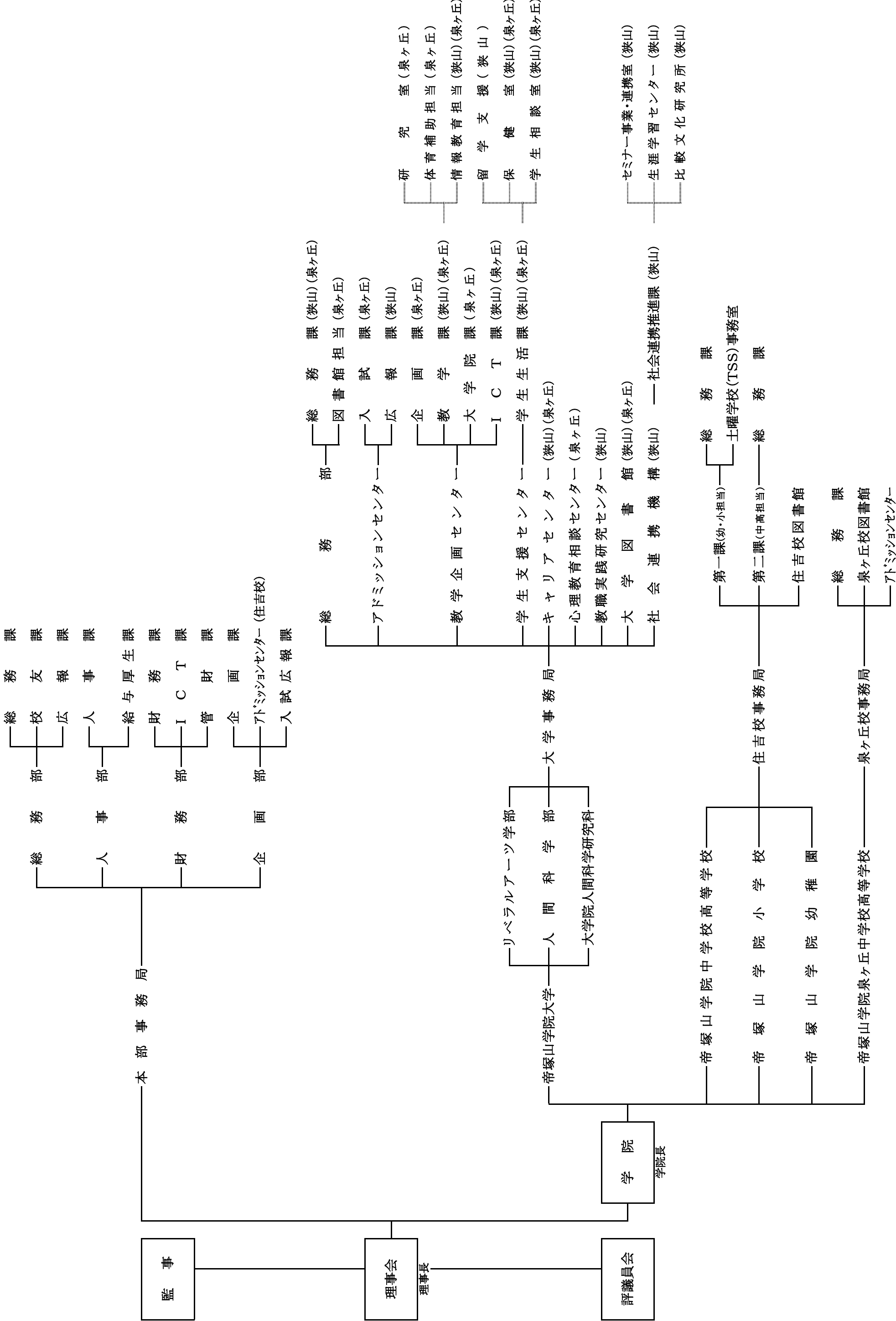
人間科学専攻

人間科学研究科

臨床心理学専攻(専門職)

2. 学校法人組織構成図(2020年度、令和2年度)

令和2年7月1日現在



3. 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

2020年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年以上	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	1	0					1
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	20	20					40
	大学院計	30	60	21	20	0				41
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	500	190	141	83	51	6	3	474
	リベラルアーツ学部計	120	500	190	141	83	51	6	3	474
	人間科学部									
	キャリア英語学科	—	130		49	42	19	4		114
	情報メディア学科	—	190		74	40	43	7	2	166
	心理学科	130	560	145	130	117	100	9	2	503
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	90	79	75	73	6	1	324
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	47	43	21	31	4	1	147
	人間科学部計	250	1,360	282	375	295	266	30	6	1,254
	大学学部計	370	1,860	472	516	378	317	36	9	1,728
高等学校 以下	帝塚山学院高等学校	250	750	227	257	256				740
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	292	285	291				868
	帝塚山学院中学校	200	600	258	272	235				765
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	157	155	171				483
	帝塚山学院小学校	120	720	115	112	109	110	115	112	673
			総定員	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
	帝塚山学院幼稚園	50	160	50	54	49				153
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,099	1,135	1,111	110	115	112	3,682
合 計		1,460	5,470	1,592	1,671	1,489	427	151	121	5,451

(参考)2021年5月1日現在

	学部・学科名等	定員		現員						合計
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年以上	
大学院	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20							0
	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	20	20					40
	大学院計	30	60	20	20	0				40
大学	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	490	146	177	131	81	3	2	540
	リベラルアーツ学部計	120	490	146	177	131	81	3	2	540
	人間科学部									
	キャリア英語学科	—	80			48	41	3	1	93
	情報メディア学科	—	120			69	37	3	2	111
	心理学科	130	540	168	138	113	110	11	1	541
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	74	88	77	74	8	1	322
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	34	42	42	20	2	4	144
	人間科学部計	250	1,220	276	268	349	282	27	9	1,211
	大学学部計	370	1,710	422	445	480	363	30	11	1,751
高等学校 以下	帝塚山学院高等学校	250	750	257	221	253				731
	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	334	288	281				903
	帝塚山学院中学校	200	600	279	256	266				801
	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	167	156	154				477
	帝塚山学院小学校	120	720	114	114	111	108	108	114	669
			総定員	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)				
	帝塚山学院幼稚園	50	160	53	51	56				160
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,204	1,086	1,121	108	108	114	3,741
合 計		1,460	5,320	1,646	1,551	1,601	471	138	125	5,532

注１．) 帝塚山学院大学では２０１９年４月より入学定員を下記のとおり変更。
 帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科 １３０名から１２０名に変更
 帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科 ５０名から ３０名に変更
 帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科 ７０名から ５０名に変更
 帝塚山学院大学人間科学部心理学科 １５０名から１３０名に変更

注２．) 帝塚山学院大学では２０２０年４月より下記の学科を募集停止。
 帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科
 帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科

4. 役員・教職員の概要

(1) 理事会(2020年度内異動を含む)

■理事	定員:12人以上25人以内	現員:15人	※は非常勤
理事長	野村正朗		
常務理事	柏木孝	2020/7/1付	常務理事就任
事業理事	萩原武		
理事	今井幸子 ※	2020/5/31付退任	2020/9/10付就任
理事	江口宗茂		
理事	近衛彰 ※	2021/2/27付退任	
理事	瀧山恵		
理事	津田謹輔		
理事	寺田千代乃 ※		
理事	土肥孝治 ※		
理事	西川隆蔵		
理事	野村明雄 ※		
理事	原充弘 ※		
理事	福田順太郎 ※		
理事	山田昌子 ※		
理事	山本雅弘 ※		

■監事	定員:2人又は3人	現員:3人	※は非常勤
監事	三木二良 ※		
監事	本井文夫 ※		
監事	山根敬介 ※		

■理事会、理事会常務委員会の開催回数
2020年度
理事会:4回
理事会常務委員会:23回

■理事会、理事会常務委員会の議事内容
別表1参照。

■役員責任賠償保険加入状況
日本私立大学協会の役員責任賠償保険に加入

■役員の責任限定契約締結状況
非業務執行理事(非常勤理事)9名、監事3名が契約を締結

(2) 評議員会(2020年度内異動を含む)

■評議員 定員:30人以上52人以内 現員:39人

※は非常勤

評議員	秋田悦子	※
評議員	有田太郎	※
評議員	井元成浩	
評議員	今井幸子	※
評議員	植田宏	※
評議員	岡本敏嗣	※
評議員	柏木孝	
評議員	神原利浩	
評議員	北本暢	
評議員	木下敏彦	※
評議員	神山眞弓	※
評議員	五味義文	※
評議員	澤田朗	
評議員	須藤健一	※
評議員	砂野有史	
評議員	竹内正明	※
評議員	田中幸枝	
評議員	谷正央	※
評議員	谷正宗光	※
評議員	田村浩	
評議員	津田謹輔	
評議員	筒井規子	
評議員	鶴崎裕雄	※
評議員	中村浩一	※
評議員	西浦寿子	※
評議員	野村正朗	
評議員	萩原武	
評議員	長谷川正	※
評議員	平井啓一	※
評議員	平田康夫	※
評議員	廣富靖以	※
評議員	福原伸明	
評議員	古川繁浩	※
評議員	細川博	※
評議員	松本隆司	※
評議員	道野充宏	※
評議員	山口多賀幸	※
評議員	山下章	
評議員	山田昌子	※
評議員	脇田忠昭	※

2020/5/31付退任 2020/9/10付就任

2020/5/30付退任

2020/5/31付退任 2020/9/10付就任

■評議員会の開催回数

2020年度

評議員会:4回

(3)教職員数(2020年5月1日現在)

(教員)

		専任	任期制専任	常勤・契約	特任	非常勤	計
帝塚山学院大学	リベラルアーツ学部	13	2	4		141	215
	人間科学部	29	7	9	10		
	大学院	1		2	1	10	14
帝塚山学院中学校高等学校		55	13	23		66	157
帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校		46	23	22		36	127
帝塚山学院小学校		22	12	11		15	60
帝塚山学院幼稚園		3	7	2			12
合計		169	64	73	11	268	585

(職員)

	専任	任期制専任	契約・嘱託	派遣	アルバイト	計
法人本部	13	4	10	5		32
大学狭山キャンパス事務局	8	3	13	4	2	30
大学泉ヶ丘キャンパス事務局	14	5	16	8	4	47
住吉校事務局	8	2	7	6	15	38
泉ヶ丘校事務局	4	1	9	6	4	24
合計	47	15	55	29	25	171

別表 1 ①理事会の審議事項

開催年月日	監事の出席	議事内容
令和2年6月25日	有	第1号議案:2019年度事業報告および決算の件
		第2号議案:理事の競業取引等 承認の件
		第3号議案:常務理事 選任の件
		第4号議案:学長選考会議委員 選任の件
		第5号議案:大学名誉教授称号 授与の件
		第6号議案:役員候補者選考委員会規程 一部変更の件
		第7号議案:理事会常務委員会規程 一部変更の件
		第8号議案:就業規則 一部変更の件
		第9号議案:大学学則 一部変更の件
令和2年9月10日	有	第1号議案:評議員 選任の件
		第2号議案:理事 選任の件
令和2年10月23日	有	第1号議案:2020年度補正予算の件
		第2号議案:幼稚園園長、小学校校長、泉ヶ丘中学校高等学校校長 退任および選任の件
		第3号議案:幼稚園副園長、小学校教頭、泉ヶ丘中学校高等学校 副校長、教頭 退任および選任の件
		第4号議案:中学校高等学校学則 一部変更の件
		第5号議案:利益相反取引 承認の件
		第6号議案:大学狭山キャンパス 売却の件
令和3年3月25日	有	第1号議案:2021年度 事業計画、当初予算、第二次中期計画の件
		第2号議案:大学 学部長、基盤教育機構長 退任および選任の件
		第3号議案:理事、評議員 辞任、退任および選任の件
		第4号議案:各設置学校学則 一部変更の件(幼稚園、泉ヶ丘中学校、泉ヶ丘高等学校、大学、大学院)
		第5号議案:学内諸規程 制定、廃止および一部変更の件
		第6号議案:役員責任賠償保険 契約更新の件

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
2020年度 第1回	令和2年4月9日	報告事項
		教職員人事関係
		学長選考会議委員 選任について
		大学管理職員・役職員の職務に関する規程 一部変更について
		給与規程の一部変更について
2020年度 第2回	令和2年5月14日	報告事項
		教職員人事関係
		大学名誉教授称号授与について
2020年度 第3回	令和2年5月28日	報告事項
		教職員人事関係
		理事会常務委員会開催日程について
		学院運営における業務執行体制と権限について
		組合関係
2020年度 第4回	令和2年6月11日	報告事項
		理事の競業取引等承認について
		2019年度事業報告および決算について
		理事会常務委員会規程、役員候補者選考委員会規程、就業規則、大学学則一部変更について
		教職員人事関係
2020年度 第5回	令和2年6月18日	報告事項
		教職員人事関係
		理事会常務委員会規程の一部変更について
		知的財産に関する諸規程の制定について
		6月25日開催 理事会、6月26日開催 評議員会の議案について
		学内構成員から新型コロナウイルス感染者（疑いを含む）が発生した場合の連絡体制について
2020年度 第6回	令和2年7月2日	報告事項
		教職員人事関係
2020年度 第7回	令和2年7月16日	報告事項
		学院創立100周年記念奨学金 奨学生の選考について（2020年度前期分）
		2020年度 補正予算編成について
		長期臨時休校に伴う今後の学校行事予定
		在籍生もしくは教職員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応について
		学院各種委員会委員について
2020年度 第8回	令和2年7月30日	報告事項
		教職員人事関係
		管理職向けパワハラ研修の開催について

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
2020年度 第9回	令和2年8月27日	報告事項
		教職員人事関係
		臨時評議員会、臨時理事会の議案について
		民法改正に伴う入学時の誓約書・連帯保証書の様式について
		2020年度事業計画 中間報告について [依頼]
		学院各種委員会委員について
		次期 中期計画の骨子（案）について
2020年度 第10回	令和2年9月10日	報告事項
		教職員人事関係
2020年度 第11回	令和2年9月24日	報告事項
		教職員人事関係
		中学校高等学校学則 一部変更について
		今後の理事会常務委員会開催日程について
2020年度 第12回	令和2年10月8日	報告事項
		教職員人事関係
		2020年度補正予算について
		育児休業規程の一部変更について
		利益相反取引 承認の件
		10月22日開催 評議員会、10月23日開催 理事会の議案について
2020年度 第13回	令和2年10月15日	報告事項
		教職員人事関係
		2020年度 補正予算について
		大学狭山キャンパスの売却について
2020年度 第14回	令和2年10月29日	報告事項
		教職員人事関係
2020年度 第15回	令和2年11月12日	報告事項
		教職員人事関係
		理事会常務委員会が推薦する 2020年度 教育後援会顧問ならびに幹事（案）について
2020年度 第16回	令和2年11月26日	報告事項
		教職員人事関係
2020年度 第17回	令和2年12月3日	報告事項
		教職員人事関係
		「育児休業に関する規程」「介護休業に関する規程」の変更について
		2021年度 当初予算の編成について
		次期中期計画の策定について

別表 1 ②理事会常務委員会の議事内容

回数	開催年月日	議事内容
2020年度 第18回	令和2年12月17日	報告事項
		教職員人事関係
		幼稚園園則 一部変更について
		2021年5月までの理事会常務委員会関係日程（案）について
		2022年3月までの理事会、評議員会 日程（案）について
		2021年度から5年間の「第2次中期計画」およびその初年度となる「2021年度 事業計画」の作成及び提出について
2020年度 第19回	令和3年1月14日	報告事項
		教職員人事関係
		大学学則 一部変更について
		今後の理事会、評議員会 日程について
2020年度 第20回	令和3年1月28日	報告事項
		教職員人事関係
2020年度 第21回	令和3年2月18日	報告事項
		教職員人事関係
		大学院学則、幼稚園園則 一部変更について
		2020年度 事業報告書作成、中期計画進捗状況報告について
		「財政健全化計画」について
2020年度 第22回	令和3年3月4日	報告事項
		教職員人事関係
		泉ヶ丘中学校高等学校 学則、一部変更について
		学内諸規程の制定、廃止、一部変更について
		アルバイト職員規程の制定および無期雇用契約への転換ルールについて
		2020年度決算に係る書類の提出について
2020年度 第23回	令和3年3月11日	報告事項
		教職員人事関係
		学内諸規程の一部変更について
		3月24日開催 評議員会、3月25日開催 理事会の議案について
		4月以降の理事会常務委員会開催日程（案）について
		入学式における新型コロナウイルス対策について
		役員賠償責任保険加入の更新について
2020年度 第24回	令和3年3月18日	報告事項
		基盤教育機構長 重任について
		教職員人事関係
		2021年度事業計画および当初予算、第二次中期計画について
		3月24日開催 評議員会、3月25日開催 理事会の議案について

Ⅱ 法人事業の概要

1 本学院の状況

学校法人帝塚山学院は、1917（大正6）年4月の小学校開校以来、「力の教育」を掲げ、「意志の力」、「情の力」、「知の力」、「躯幹の力」を学院の中で鍛え上げるという全人教育の理念のもと、社会で活躍できる人物への育成に邁進し、幼稚園から大学院まで8つの設置校を擁する関西屈指の総合学園をめざして、日々努力を積み重ねているところであります。こうした取り組みもひとえにみなさま方のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

本学院では学院創立100周年にあたる2016（平成28）年度を契機として第一次中期計画（2016年度から2020年度まで）を作成し、P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルの考えのもと、学院全体が改革にむけて取り組んできました。まず、学院のミッションを「Ⅰ 帝塚山学院を本来の『品格ある由緒正しい名門私学』に」「Ⅱ 建学の精神への原点回帰（『意志の力』『情の力』『知の力』『躯幹の力』を備えた人物の育成、自学主義『教える』から『学ばしめる』）」とし、それを実現するための改革の基本方針は、「Ⅰ 危機感の共有」「Ⅱ 3つの力の強化（①教育力、②組織力、③財務基盤力）」「Ⅲ 『一貫校』から『総合学園』への転換」といたしました。

教職員に向けては、各年度に取り組む事項を

2016年 創立100周年

2017年 改革元年（選ばれる学校にならなければ生き残れない）

2018年 教学と経営の一体改革

2019年 教育の質保証と健全な財務体質作り

2020年 //

と掲げ、学院一丸となって努めたところです。

ところが、2020（令和2）年度は第一次中期計画の集大成の年度ということでしたが、想像を絶する出来事として新型コロナウイルス感染症の感染まん延、それに伴う緊急事態宣言がなされ、かつて経験のない感染対策や長期間にわたる臨時休校、

休校分の授業時間数の確保、リモート授業の始動等、想定外の対応に日々追われることになりました。そのような状況ではありましたが、教育の質的向上を図り、真の「力」のある人材の育成をめざして、さらなる教育環境の充実を図るべく、学びを継続してまいりました。

コロナ禍における2020年度 各設置学校 教育トピックスを以下のとおり、まとめました。

幼稚園では、昨年春の緊急事態宣言下では300本を超える動画を配信するなど、数多くの動画を駆使して学びを展開しました。動画は、楽しみながら学習できるもの、遊戯や手遊びから幼稚園の雰囲気やお友達の様子がわかるものなど教員が工夫し、園児が退屈しないように、様々なタイプを用意しました。

小学校では、昨年春の緊急事態宣言による休校中は、学習面・生活面でのサポートを徹底しました。特に学習面では、担任と児童が課題やメッセージのやり取りを行うなど、デジタルシステムを効果的に使用しながら学習を進めています。生活面では、クラスごとにスケジュールを組み、各家庭に電話をかけ、児童一人ひとりのコミュニケーションを大切にし、精神的なケアに努めています。児童には、健康チェック表を配布し、登校日に確認することで体調を把握しました。

泉ヶ丘中学校高等学校では、ココロの学校2020を開校しました。困難や逆境からどう立ち上がっていくかを学んでほしいとの思いから生まれたのが「ココロの学校」です。今回は、生まれつき片方の目が不自由で、中学生の頃、もう一方の目も見えにくくなり、数年で全盲となった落語家 桂 福点 氏をお招きしました。

さまざまなことを我慢せざるを得なかった生徒たちにとって、この90分間はとびきりのプレゼントになったのではないかと思います。

中学校高等学校では、笑顔ある暮らしを目指して、シトラスリボン運動に参加しました。新型コロナウイルスに感染した方や医療従事者等に対する心ない誹謗中傷が社会問題となる中、グループごとに大阪府内の病院・薬局・老人ホーム・スーパー・レストランなどを調べ、プロジェクトの趣旨を書いたメッセージを添えて、1つずつ心

を込めて作ったシトラスリボンを贈りました。

大学では、昨年春の緊急事態宣言下では、迷いながらも全授業を遠隔化しました。一口に遠隔授業と言っても形態はさまざまで、講義を生中継するリアルタイム形式のものもあれば、録画しておいたものを配信するオンデマンド形式、パワーポイントなどで作成した資料にナレーションを付けて展開するというパターンや、教員と学生によるチャットスタイルもありました。大学ではあえて統一せず、担当教員一人ひとりに任せたことで、個性が反映された大学らしいバラエティー豊かな授業展開となりました。

また、学びを止めないために、全学生に対して「遠隔授業支援特別奨学金（一律3万円）」を支給したほか、奨学金の枠を拡大するなど、経済的な面からのサポートも行いました。

さらに、2020（令和2）年度は大学キャンパス統合事業を終える年でありました。大学狭山キャンパス売却に関して、本法人の意向は医療・介護、教育研究機関への売却、校舎・図書館・茶室等の有効活用でしたが、意向に沿った形での条件で売買契約を締結することができました。

2021（令和3）年度の本学院の入学募集状況は、一昨年度、昨年度に引き続き幼稚園から大学院まですべての設置校が入学募集定員を充足することができました。これは、前述の各学校での教育面における取組が社会からの一定の評価や期待を得ていることの成果であるとともに、コロナ禍の中、少人数での入試説明会を複数回に分けて開催するなど、感染防止対策を徹底しながら入学獲得のために、募集活動をきめ細かく、地道に行ってきたことが実を結んだことであると考えております。

21世紀における学院を益々発展させるため、改革を続けてまいります。

Ⅲ 2020年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

1. 2020年度事業報告（法人本部）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) エンロールメントマネジメントの導入	① 各設置校の学生・生徒等カルテ構築への関与 ・ 学院全体ネットワーク基盤上でのデータ共有 ・ 学院統合ファイルサーバーの初期導入完了 ・ 各種システムのデータ連携推進 ・ 2019年度設立ICT課による学院ICT支援体制強化 増大する支援要請に対し、泉ヶ丘キャンパス（大学・泉ヶ丘中高）へのICT課要員の増員計画立案
(2) ICTを活用した教育の推進	・ 各キャンパス 学生・生徒等のネットワーク環境の充実 ・ 計画的なICT投資計画による実施点検・見直し 大学ワンキャンパス整備に伴う幹線GIGA化及び無線LAN環境の再整備完了 高校以下の教育無線LAN環境（幹線GIGA化）の整備完了 高校以下生徒児童の一人一台端末の計画立案、2021年4月から段階的に端末導入を実施
(3) 優秀な人材の採用	① 高以下教員の採用強化 ・ 各大学での説明会実施 ・ 大学数・説明会回数を増やす ② 事務職員の採用強化 ・ 専門性の高い人材の採用 ・ 大学事務局アドミッションセンター長、本部事務局財務課長を採用 ・ チャレンジ給制度の導入 魅力的な報酬水準による優秀な人材の採用

1. 2020年度事業報告（法人本部）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 理事長および学校園長のリーダーシップによるガバナンス体制の強化	① 理事会・評議員会の機能強化 ・ 改正私立学校法施行に伴う改正後寄附行為の円滑な運用 特別の利益供与の禁止、競業及び利益相反取引の制限等の円滑運用 日本私立大学協会の役員賠償保険への加入、非業務執行理事の責任限定契約締結 ② 2021年度から5ヶ年の第二次中期計画の策定 ③ ガバナンス体制確立のための各種規程の改廃および整備 決裁権限規程等を整備 ④ 組織体制の見直し ・ 大学事務局の組織変更 1 キャンパスを見据えて組織の効率化（組織変更は2020年3月に前倒し実施） ・ 本部組織の活性化 本部事務職員の異動（ローテーション）の実施 人事→財務（4月）人事→大学教学課（9月）人事部給与厚生課1名採用 ・ 住吉校事務局の組織変更 2020年4月に1課と2課の執務室分離、2021年4月に事務局を分離 幼小事務局と中高事務局に分離し、より特化した教職協働を促進 ⑤ 校園長選考の円滑運用 ・ 幼稚園園長、小学校校長及び泉ヶ丘中学校高等学校校長の任期満了に伴う改選
(2) コンプライアンス体制・機能の強化	① 監事の役割強化 ・ 監事監査基準の作成 ・ 内部監査体制整備の準備

1. 2020年度事業報告（法人本部）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(3) リスクマネジメント体制の確立	① 学院 ICT 環境の改善 - 学院情報セキュリティポリシーのガイドライン策定 セキュリティポリシーの対象となる端末について、教職員端末の配布及び管理体制を構築完了 - 情報セキュリティマネジメント体制の構築 本部へのサーバー集約、及びクラウド利用などを進め、セキュリティ対策及びBCP対策を実施 各部の ICT 調達・導入に対して支援を行う体制を構築済 ② 安否確認システムの円滑な運用 ③ デイフェンス広報への対応 ④ 感染症対策 - 新型コロナウイルス感染症状況に関する文部科学省、大阪府等公的機関の通知を早急に各部へ周知するとともに、陽性者確認時は保健所による疫学調査等を現場教員管理職と協働により対応
(4) 人事制度の見直し、改善	① 同一労働同一賃金への対応 - 法の趣旨を踏まえ正規労働者と非正規労働者の待遇差の改善を図る ② 高以下教員の勤務時間管理の徹底と効率化 - 時間管理システムの活用と長時間勤務者の削減 ③ 事務職員の人事評価制度の確立 - 評価者研修の開催 2020 年度の評価を 2021 年度に反映 ④ 教員の人事評価制度の導入 - 小学校・中学校高等学校教員の評価制度の検討 - 大学教員の評価反映方法の検討 2020 年度の評価を 2021 年度に反映 - 幼稚園教員の評価反映方法の検討 2020 年度の評価を 2021 年度に反映

1. 2020年度事業報告（法人本部）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(5) 事務組織の円滑な運営	① 法人本部の体制見直し ・ 情報システムセクションを新設 2019年度に財務部 ICT 課を設置 ・ 本部事務局の体制強化 事務職員の異動（ローテーション）を図り、バックアップ体制を確立する ・ 職員研修体系の充実を図る 私学事業団、大学協会、私学経営者協議会の私学研究会の研修を、幅広い職員を対象にして参加させる ② 職員全体を対象とした研修制度を作成 ・ 新任管理職研修、新任教職員研修・フォローアップ研修実施
(6) 知名度向上のための広報戦略	① パブリシティ活動 ・ 各設置校に情報提供担当者を配置 ・ 情報収集フローを策定 ・ スイーツ心理学（大学）、シトラスリボン（中高）などが複数のメディアに掲載 ② ペイドメディア広報 ・ 既存媒体（朝日新聞、南海電車、阪堺電軌）は継続をベースに出稿パターンや内容を再検討 交通媒体は継続したが、コロナの影響によりイベント告知目的の新聞広告は出稿数を削減 ・ 新規媒体出稿の検討 ③ オウンドメディア広報 ・ 「帝塚山学院通信」23号発行 巻頭企画にて学院経営層と鈴木寛元文科副大臣との対談企画を掲載 ・ 大学ホームページのリニューアル実施
(7) 帝塚山ネットワークの構築	① ステークホルダー（PTA、同窓会、教育後援会）との関係強化 コロナ禍により就職支援会、「まつかさ応援募金」の積極的な協力依頼は行わず

1. 2020年度事業報告（法人本部）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 増収策	① 学費の計画的な改定 ・ 他法人の学費設定方法を参考に改定を検討 幼稚園では2021年度より安全衛生管理費を導入 ② 積極的な補助金の獲得 ・ 経常費補助金等学校向けの補助金に加え、省エネ等各種補助金の調査 ③ 寄付金募集 ・ コロナ禍のところ寄付総額は対前年比プラス
(2) 節減策	① 組織の計画的・効率的配置 編成 ・ 教職員の年齢構成を考慮した採用を実施し、各設置校ごとの収支バランスの取れた人件費比率を目指すとともに、適正数の採用を実施 ② 時間外勤務の削減 ・ 各校園での働き方改革ワーキンググループの開催を継続 ・ 教員の時間外勤務は減少傾向 ・ 大学の1キャンパス化作業等により、大学職員の残業が増加 ③ 経費の節減 ・ 入試状況を踏まえた奨学費の見直し ・ 大学キャンパスの統合後の固定費削減計画の立案
(3) 業務の効率化	① 全教職員利用のグループウェアの立案 ・ 大学及び職員が利用しているグループウェアと、高以下各所で利用しているグループウェアを統合 ② 予算執行申請方法に見直し ・ 経費精算システムの導入を検討 ③ 人事記録のシステム化 ・ 人事記録表、契約書の管理等の適正化を図る ・ 2019年10月中にデータの整合性を検証し、2019年12月中に移動 ④ タイムカード及び時間管理システムの導入及び定着 ・ それを基に速やかなDataの提供、運用を実施する ・ 労働時間の客観的な把握及び事務処理の効率化 ⑤ 労基署への届出の電子申請化 ・ 住吉・泉ヶ丘中高への時間管理システム導入は2020年4月 ⑥ 就業規則変更、36協定届出のWeb化 → 2020年4月より対応済 ・ 業務フローによる業務の可視化 ・ 現状の業務の流れと問題点の分析 → 2020年12月に業務フロー完成
(4) 中長期修繕計画の策定	① 各キャンパスの中長期修繕計画策定に必要となる修繕必要箇所の調査完了 ② 管財課長を配置

2. 2020年度事業報告（幼稚園）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育内容の改革（教育の質の保証）	① 体験型プロジェクト保育の確立 ・ 就学までに必要とされる「育てたい10の姿」を育む独自プログラムを確立 ② 英語プログラムの継続 ・ 年少から年長まで外国人講師による英語指導の継続 ③ 運動能力・体力の向上 ・ 朝・昼10分間の「パワーアップタイム」の継続、2学期「縄跳びにチャレンジ」の継続 ・ 総合遊具の活用 ④ 表現力・語彙力の向上 ・ 絵本の読み聞かせ・貸し出しによる「ことば」の表現力指導。目標として読み聞かせ年間「150冊」 ⑤ しつけ教育の向上 ・ 挨拶、お礼、お箸・鉛筆・はさみの使い方指導 ⑥ 食育活動の更なる充実 ・ 「体感する」をテーマに食育プログラムを実施 ⑦ 保育実践カリキュラムの研究 ・ 脳科学と保育の関連研究を継続 ・ 「10の姿」を育む保育活動の研究 ⑧ 安全教育の充実 ・ 災害時の単独避難行動教育の充実緊急地震速報受信システム活用 【避難訓練】年2回 5月・11月実施、【防災訓練】年3回 6月・9月・1月実施 【点検】1学期・2学期に実施
(2) 園児支援改革（進路進学について）	① 内部進学率の向上 ・ 保護者との関係強化と小学校との連携強化に注力し、内部進学の高位安定を持続 ② 進学説明会の時期や回数について、小学校と連携し効果的な日程を決定 ③ 課外教室の満足度検証 ・ 現在開講中の5教室の成果を把握

2. 2020年度事業報告（幼稚園）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(3) 指導力向上のための改革	① 園内研修の充実 ・ 教員による保育実践事例研修を年2回実施 ② 教員の救命技能の向上 ・ 普通救命講習を8月に実施、全教員受講
(4) 家庭との連携・子育て支援	① 家庭の子育て力の向上 保護者の子育ての悩みや不安の軽減を支援 ② 満3歳児以下の子どもの受入れを検討

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 組織・運営基盤の改革	① 教員の強化 ② 勤務時間管理システムの導入 ・ 適切な人員配置の実施 就職説明会への参加、人材紹介への積極的アプローチ ③ 担任ローテーションの実施 ・ 各学年に専任担任補助の配置 ④ 慢性的過重労働・教員不足の回避 ・ 人材紹介などを積極的に利用し、即戦力となる教員採用の実現 ・ アルバイト教員有期雇用制度の検討 ・ 専任教員の適切な配置。 各学年に即戦力となる専任教員1名を補助として配置を実現。 教育職契約職員の待遇改善
(2) 人事制度改革	① 人事考課制度導入への検討 ・ 個々の教員の役割や目標を明確に伝え理解を求める ・ 目標達成の為の具体的行動を確認 年間3回の面談を実施目標 ・ 各教員がPDCAサイクルを意識した計画や実践結果になっているかを確認する。 ② 自己点検シートの活用 ・ 項目別評価とする自己点検シートの活用

2. 2020年度事業報告（幼稚園）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 安定的財政基盤の確立	① 定員の確保 ・ 魅力のある幼稚園説明会の実施。 ・ 定期的塾訪問等、接触者数増加に向けての努力 ・ 転入園児の積極的受入 ② 特別協力金納付率の向上 ・ P T Aにおいて、特別協力金の協力と理解を求める ・ まつかさ応援募金への協力依頼
(2) 本園の教育に共感する家庭、園児の確保	① どんぐりクラブ入会者確保 ・ 目標を確保 ② 改革内容の広報 ・ 保護者層からの情報収集を活用し、動画など Web 広告の充実強化 ③ 未就園児対象イベントの見直しと充実 ・ 説明会開催回数を増 ・ 園庭開放の周知を徹底 ④ 保護者アンケート（学校評価）満足度アップ ・ 保護者アンケートの満足度を計測するとともに、アンケート内容に対する P D C A サイクルの定着 ⑤ 保育環境の充実 ・ I C T 機器を利用した保育活動の充実 ・ 自園給食の実施に向けた準備
(3) 入試制度の検証・改善	① 3年保育受験児の受験負担の軽減 ・ どんぐりクラブの周知を継続
(4) キャンパスなどの整備	① 質の高い保育環境を提供し、園児募集への直結 ・ 保育室など必要箇所の改修 ・ 地震対策を引き続き実施 ・ 園庭菜園部分の美化と整備

3. 2020年度事業報告（小学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教科指導力の向上	① 教科指導力の向上 ・ 学力育成の具体化、協働学習の展開 ・ 主体的・対話的で深い学びを実現するための学習過程の創出と計画的研修の実施 ・ シラバスの作成と教材開発 ・ 併設中学校の入試問題の分析と共有 ② 担任の学級経営力の向上 ・ 教員研修の継続（初任者研修、各科目授業研修、新任教員育成計画の立案）
(2) 教員の質の向上	① 担任の学級経営力の向上 ・ 教員の教科指導力の向上 ・ 専科制をより強化し、高学年においては、担任の国語・算数力の強化を図る ・ 学級経営力の向上 ・ 専科教員の小免許取得促進。初任者研修の充実 ・ 教員研修の継続
(3) 児童の学力向上、進路指導への取組強化	① 学力向上への取組 ・ 現在ある学力向上に向けた取り組みの強化と実践 ・ 放課後補習（全学年）、国算の習熟度別・少人数授業、長期休暇の講習会の現状の強化…人員の増加や教材の作成等。 ・ 独自の「基礎学力表」の活用 ・ 2019年度完成した、模試結果を利用した「基礎学力の目安表」をさらに普及 ・ 「学力向上教材」の作成と実施 ・ 小一から、スローラーナード用に「家庭用教材」を作成、配布 ・ TASCの参加促進と充実 ② 学力情報の増加 ・ 外部模試結果の分析と情報共有 ・ 進路ガイダンスの内容充実 ・ 漢字検定の活用強化 ③ ICT教育の強化 ・ 2021年度の一人一台ICT機器の所持の実施に向けての準備 ・ 教員の実践研究 ・ InnovationStudiesの確立と発展

3. 2020年度事業報告（小学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(4) 道徳科目	① 「道徳」科目の確立 ・ 帝塚山学院の「道徳」科目の策定 ・ 「道徳」を身近に考える「独自性」を追究
(5) 英語教育の強化	① 英語教育の強化・目標設定 ・ 英語教育の達成目標の策定 ・ TOEFL primary STEP1による英語力の数値化と可視化。指導の方向性を定める ・ TOEFLPrimaryの受験対策の構築 ・ 3年生3学期より年2回計6回の実施。授業内で受験を見据えた教材も扱い、成績向上を目指す ・ 分割指導の強化 ・ 1年生時より、読み書きクラスで分割授業を行う。 ② 本科英語とTSSとの連携 ・ 学院小学校優先・内外定員の明確化 ・ 実践的英語力の習熟 ・ TSSの指導経験者の英語教諭への採用
(6) キャリア教育	① キャリア教育の充実と精査
(7) 新科目にも対応する教室整備	① クラス教室の整備 ・ 新科目（特にICT教育）に対応できるように教室を長期計画で整備
(8) 生活指導の強化	① 生活指導の強化 ・ 「人間力」「生活力」を高める指導の体系化・強化（生活指導） ・ いじめ防止対策の強化 ・ いじめ対策委員会を中心に、組織的対応ができる体制の強化 ・ 学校生活支援会議や、教員間の連絡による、児童に関する情報共有の徹底 ・ PTAとの連携強化 ・ PTAとの定期的な会議による、指導方針の共有化
(9) 学校行事の見直しと強化	① 各行事の確認と検証・保護者の満足度の向上 ・ 昨年度から実施しているアンケートを利用し、保護者からの満足度や不満を吸い上げ、修正・実践。臨海学舎に関しては、低学年の授業日数確保のために、2学期の早期開始を検討 ・ 保護者からは「コロナ禍の制限下でも学校行事はできる範囲で行われており、児童の自主性の育成に役立っている」と約9割の高評価

3. 2020年度事業報告（小学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 組織改革の実施、並びに校務分掌の改変・整備	① 校務分掌の整備と事務局との連携 ・ 管理職と教員の一体運営強化 ・ 管理職や部長の業務を教員に周知 ・ 主任会議の活発化 ・ 「教」「職」一体の組織運営 ・ 管理職と教員との面談実施 ・ 新健康教育部新設 児童の健康を中心とした事柄について担当する部の新設・活動。 ② 学院幼稚園、学院中高、泉ヶ丘中高との校務運営の連携。総合学園としての学院全体の発展を目指す ・ 幼稚園…ファーストプログラムを介した教育連携のための情報交換 ・ 中高から、講師を招聘し、連携の強化を図っている ③ 児童に対する教員連携強化。教員集団としての児童への指導力向上を目指す ・ 校務支援システム「siems」・共有フォルダの発展的活用
(2) 勤務時間管理と人材確保	① 時間管理導入後の教員の業務軽減 ② 出欠確認システムの導入
(3) 人材の確保と、適材適所の配当	① 担任の学級経営力の向上 ② 専科制の拡充 ③ 小学部における必要人材の人数、配当の計画の策定
(4) 保護者との連携強化	① 個人懇談の充実 ② P T A集会などの機会に、保護者との連携強化 ③ 学校評価アンケート、及び塾・習い事調査の実施と分析

3. 2020年度事業報告（小学校）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 児童定員の確保	①教育内容の充実をはかりつつ、積極的広報を目指す ②外部進学と内部進学の各目標設定の明確化 ③保護者との接触機会の増加を検討する。プレゼンテーションの完成度を高める ④募集活動に対するさらなる教員意識の向上。管理職・部長・主任からの説諭 114名入学。入試広報部は、コロナ禍でありながら、積極的に活動 様々な手段でのイベントと、様々な教員が撮影した動画配信等を実施
(2) 外部資金の獲得	① 教室充実等の補助金申請への取り組み強化
(3) 経費削減	① 法人本部と協働し実施

4. 2020年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 進路指導目標：「進路指導特色校」としての基盤整備	① 生徒の第一志望合格にこたわる組織の基盤づくり ・ 進路指導部の組織改革 （開票率1%で精度100%の進路予測が出来るシステムづくり） ・ 管理職・進路部・高校学年団の三位一体の進路情報の共有と迅速なる生徒対応 ・ 「進路の手引き」を合格体験記との合作で8月末に完成させ進路指導に活用 ・ 模試分析会を模試毎に実施し、現状把握と教員間の情報共有を実施 目標の国公立現役合格者は昨年度実績を上回った。進路予測に関するシステムを構築することができた。進路の手引きに関しては生徒自身が現状把握できる内容へバージョンアップ。 ② 指定校推薦枠の維持 ・ 指定校推薦で進学した卒業生への現状把握 ③ 新時代の入試への対応 ・ オンライン英会話と国際教養部の戦力化 コロナ禍のため、留学に関する業務はほぼ停止 ・ 国際教養部が主導し、オンライン英会話の実施と検定試験を導入 オンライン英会話や検定試験対策を行う土曜英語講座については機能した。 ・ SDGsの導入（中学） 中2の総合にて取り扱い ・ 教科主任主導の研究授業と反省会の実施 コロナ禍におけるリモート授業の実施について研究が進んだ ・ 国際英語コースのリスタート
(2) 学習指導：学びを通じて「自己肯定感」を高める	① 落ちこぼれを作らない、機能性の高い中学部組織改編 ・ 中学部長を中心とした円滑かつ機能的な組織運営の実現 中学部長を中心に会議の実施 ・ 先取り学習偏重のカリキュラムからの脱却。学力レベルに応じたカリキュラムの遂行 中学3年のカリキュラムで実施 ・ コース変更組み換えの校内統一基準の実施 中学部長を中心とした会議内で実施。成績下位層が減少

4. 2020年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	
(2) 学習指導：学びを通じて「自己肯定感」を高める	② ICTを活用した教育活動、家庭との連携の充実 ・ クラッシー活用のさらなる活性化 コロナ禍で活用が進んだ ・ 生徒用端末活用の促進 調べ学習等での活用は進んだ ③ 英語4技能の習得 ・ 国際教養部を中心とした組織的な活動 土曜英語講座を実施。英検準1級合格、GTEC1000点以上に多数が到達 ・ 留学生派遣と生徒のモチベーションアップのためのイベントを実施予定であったが、コロナ禍のため実施できず ・ 海外オンライン英会話を高1、2で実施 ・ 総合の時間を活用した英会話授業のカリキュラム変更
(3) 生徒指導：社会に出るための訓練の場としての学校	① 生徒指導を通じた学校全般の規範作り ・ 中学校の全校朝礼やHRに各クラスで注意喚起、指導の徹底を図る コロナ禍で全校朝礼での注意喚起、指導が実施できず、動画を活用 ・ 登下校指導の着実な実施、マナー指導の実施 『生徒指導だより』の発行（no.13～no.20） 泉ヶ丘駅でのバス乗車指導を徹底（毎日、当番制にて登校指導教員を配置） ・ 服装指導の徹底 ・ 組織的対応の方法確立 ・ Stop itの活用によるいじめ等の早期発見と注意 生徒の遅刻総数前年度比大幅減 保護者アンケート該当項目での肯定回答上昇 ② 生徒の安全対策の徹底 ・ 登下校の安全管理のための「ミマモルメ」のさらなる活用 クラッシーが回線不良で利用不可になったが、ミマモルメや学年毎の掲示板は有効に活用 ・ クラッシー導入による保護者との連携強化 保護者アンケートで緊急情報に関する肯定回答は、中高共に90%超 ・ 昼休みを含めた休み時間と放課後の生徒の安全管理 新型コロナウイルス感染症防止のため、昼食指導やクラブ活動中の安全管理を実施

4. 2020年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(4) 特別活動：集団活動を通じた「協調性」「社会性」の涵養	① 子どもたちの活動が外に伝わる、開かれた学校づくり ・ ホームページの更新頻度と内容の精査 ・ 頻繁な更新で、学校の様子を保護者に知らせる ・ 文化祭の中高分離実施 ・ SNSによる高品質な情報の発信 HPでの情報発信は質量ともに十分ではなかった コロナ禍で参観、行事のほとんどが実施できず 文化祭の部分的開催。体育大会の中高分離開催 ② 人間性の涵養に資する特別活動を目指して ・ 文武両道の理想の追求 ・ 管弦楽部の強化 ・ 中学校合唱コンクールを実施 ・ 「コロナの学校」をPTAと共催 ・ 芸術鑑賞会（ゴスペル鑑賞）を実施 コロナ禍のため、合唱コンクールと芸術鑑賞会は実施できず コロナの学校はフェニックスにて実施
(5) その他：感動・夢の創出を目指して	① キャリア教育の充実と大学見学、人権教育の活性化 ・ リアリティを伴う、心に響く人権教育の実践 ・ キャリア教育の抜本的見直し。SDGsの学びを通じた社会との共生 卒業生を学校に招いて講演会、東京とZOOMを用いて繋ぎ、生徒との座談会を実施 ・ 教員自家用車乗り入れ禁止 法人本部との連携により実現

4. 2020年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) ガバナンス強化：教員の一体化	① 時代変化に見合った不易流行の明確な判断 ・ 管理職、運営会議メンバーのベクトルの統一 ・ 管理職会議、運営会議で議論され、決定した事案を教職員全体に丁寧に説明し、理解と行動を促す ・ 開かれた校長室の実現 ・ 議体制や組織の運営に関して、ベクトルはほぼ統一 ② 教職員の職場での安全管理のための勤務時間管理 ・ 教員時間管理に基づき、勤務バランスの調整
(2) 組織力強化：物事決定の手順の明確化	① 会議の活性化、見直し。 ・ 毎朝の朝礼、管理職会議（週2回）、運営会議（管理職・分掌部長・学年主任、週1回）、教職員会議（原則月1回）、各分掌会議（原則月1回）、中高各分会（原則週1回）、担任会（原則毎週）、各種プロジェクト会議（適時開催） ・ 総務部を保健部と企画部に分離し業務を効率化 ・ 教員の働き方改革を目指し、各会議の効率化と回数削減を図る ・ 朝礼・会議は効率よく実施され、円滑に物事決定が実施できた ② 学校協議会の充実 ・ 年3回開催（5月、10月、3月）、有識者より学校運営に関する意見聴取 ③ 教員面談を通じ、教員の強みが発揮できる適材適所の人材活用 ・ ヒアリングを重ね、予定通りの時期に人事配当を決定 ④ 若手教員（20代～40代）の戦力化 ・ 6月と11月に授業見学週間を設定

4. 2020年度事業報告（泉ヶ丘中学校高等学校）

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学生の確保	① 募集活動のより一層の活発化 ・ 中学校入試については、広域からの志願者増に向けての募集活動を活発化 ・ 高校入試については、公立上位校の併願校としての認知度を上げるための基準設定と募集活動を実施 - コロナ禍における募集活動を実施。成績下位層の底上げは実現 - 昨年減少した受験生を大幅に回復することができた ・ インターネット広告等を用いて広報活動は手探り状態で継続課題 ② 職員に対する仕事内容の明確化と成果検証 ・ 職員の担当上司を明確にし、上司に対する日報の提出を義務付ける。 日報報告アプリを用いて実施
(2) 外部資金確保	① 大阪府、文部科学省等の競争的資金の確保 コロナ対応と GIGA スクール構想における補助金を確保
(3) キャンパス整備管理	① 普通教室のエアコン入替、体育館随整備、高圧機器取替、教室前エアコン設置、生徒用 PC 新規購入、生徒用下足室アルミマット取替等 キャンパス整備はほぼ計画通りに実施

5. 2020年度事業報告（中学校高等学校）

1. 教育力の強化	実施目標・計画	具体的取組
(1) 学習環境の増強		① 英語教育のさらなる充実を図るため、グローバルラウンジを活用 ・ ネイティブの常駐日数増。 ② ラーニングコモンズを活用し、ICTを利用した個別学習の機会を拡大 ・ 創研講座でラーニングコモンズを活用し、ALの取り組みを全校的に拡充した。 ・ PCの導入をさらに増台し、生徒が卒業リポート等の作成に活用。また、Classiの導入、Zoomによる授業、Youtubeでの動画配信などを実施。
(2) 指導体制の充実		① エンロールマネジメントの進展 ・ エンロールマネジメント委員会が生徒情報の管理・蓄積を継続 ② 進路分析会を毎学期実施し、模試成績による現状把握と教員間での目標の共有化 ・ コロナ禍で会議の開催が難しい中、データや資料を用いて情報を共有 ③ シラバス見直しを行い、コース・学年の資格取得や模試偏差値に目標設定 ・ 次期学習指導要領改訂に向けて情報を収集し、大学入試改革に対応じた高校カリキュラムを策定
(3) 生徒学力の向上		① 英検2級取得プログラムを導入し、関学コースの英検取得率向上 ・ 取得プログラムが定着し、英検2級・準2級の取得率ともに、ほぼ100%を達成。 ② 計画的学力向上 ・ 成績情報を把握し、指導計画を策定 ③ 高い教育力・授業力を実現するための教員研修を実施 ・ コロナ禍でオンライン授業やオンデマンド授業など、教員全体のICTスキルが大幅に向上 ・ 各大学で導入され始めた自己推薦型の入試に対応するため、ラーニングコモンズを活用して主体的・対話的な学びを実践 ④ 生徒の多様な希望に応じたきめ細かい進路指導 ・ 大学入試共通テストに向けて、進路指導部を中心に問題研究を進める ⑤ 昨年設定したコース・専攻別の面談等をオンラインやオンデマンドに移行 ・ 基本的な生活習慣を早期に確立し、中高の内部進学率を向上 ・ 中学担当教員を中心に、生徒の生活習慣・学習習慣の定着を促す コロナ禍で休校や時差登校の期間は、生徒の生活習慣や学習習慣の管理を行うことが難しかったが、Classiの活用やZoom朝礼を実施 ・ 学年団・自治会・生徒会等で、コロナ禍における差別・偏見を無くす「シトラスリボン運動」を実践し、病院・薬局・薬局・医療従事者に生徒自作のリボンを発送した。また、南海電鉄とコラボを展開し、大きく取り上げられた。

5. 2020年度事業報告（中学校高等学校）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) ガバナンスの強化	① 生徒数、教員数にあわせて設置した管理職業務の明確性を持続 ・ 副校長と教頭の役割分担の明確性を持続 オンラインを活用した管理職の協働により、コロナ禍のイレギュラーな事態に対応 ② 勤務時間管理システムの継続 ・ 法人本部との協働により業務改善を推進 ワーキンググループにより長時間労働の是正と働き方を改善 ③ 人事考課制度導入への検討と運用開始 ・ 教員の働き方を踏まえ、同制度の基準と方向性の検討
(2) 教職協働による組織風土の改革	① アドミッションセンターとの連携を強化し、データ分析の精度向上 ・ アンケートの集計・分析を検討 入試イベントと出願を管理するシステムについて、より広範な機能を持たせるよう拡張を開始 ② 事務機能を強化し、教職協働の促進継続 ・ 事務局を幼小と中高に分ける二課制を本格的に始動 週1回の教頭・事務局連絡会を継続。コロナ禍での全生徒への教材発送などを教員と職員で連携。組織上、幼小と中高の事務局に分割
(3) 教育環境の整備	① 生徒数に対して適正な教室数の確保 ・ 特別教室を含めた教室数の検討 新中1のクラス増に伴う、普通教室への改装。 ② 生徒数に対して適正な専任教員および常勤講師数の確保 ・ 昨年同様、クラス数・生徒数に見合う常勤専任数を確保。クラス増に応じた採用を実施。

5. 2020年度事業報告（中学校高等学校）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 募集強化による予算基盤の安定	① 中学での入試行事参加6年生からの実出願年率の着実な上昇 ・ コロナ禍の影響で年度前半のイベントや個別相談がほぼ実施できなかった。年度後半には感染症対策を充分に行った上で、イベントやミニ説明会を大幅に増やして実施。結果として、昨年を上回る出願率に。 ② 高校での入試行事参加者を維持し、専願者数の着実な上昇 ・ 年度後半に感染症対策を充分に行った上で、例年と同じ回数の入試イベントを維持
(2) 入試改革による募集力の強化	① 新しい入試方式の導入を検討 ・ 市場の動向を分析し、新しい入試制度導入が可能かを検討 新しい入試方式についての研究を実施
(3) 外部資金の獲得	① 大阪府や文部科学省等の競争的補助金の獲得 私立高等学校等IT教育設備整備推進事業、私立学校情報機器整備補助金、私立学校情報通信ネットワーク環境整備費補助金での補助金獲得

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

1. 教育力の強化	実施目標・計画 ①学生の能力に応じた入学前教育の実施 <入学前教育プログラム> ・ テヅカドリのレベル再検討。 ・ 基礎学力の定着・学部学科教育への接続・大学生生活への期待醸成、仲間作りに向けた各種プログラムの実施と各結果データの入学後学生指導への連動 ・ スクーリングファシリテーター研修の充実とピアサポーターの育成 ②学生の授業出欠管理の徹底 <システム統合と学習支援システムの更新（C-Learning から WebClass に変更）による履修・出欠データの活用> ・ 専任・非常勤講師ともに WebClass を活用した出欠管理と集計 ・ WebClass の利用率の向上 ・ 教員対象説明会の実施、利用マニュアルの配布、出席管理の徹底 ③基礎学力の強化と検証 <導入学習科目「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の授業内容の刷新> ・ 基盤教育機構と各学科教員との協働による新プログラムの導入 ・ 大学での学びに必要な基礎スキルの修得。 ・ レポート作成等の学修基礎スキルの修得に関して、全学共通の教材、フォーマットを整備 ・ テヅカポートフォリオを導入し、学生が各科目の修得・ジェネリックスキルの成長等を自己評価 <アセスメントテストの実施と活用> ・ 「テヅカドリル・基礎学力テスト」実施による基礎学力状況の把握 ・ 英語アセスメントテストの継続、結果の検証。 <成績分布公表による評価の適正化とシラバス内容の改善> ・ 基盤教育（共通必修科目）における成績基準の適正化と検証 ・ 成績分布による到達目標の難易度の検証と改善 ・ 授業外学習時間の検証とシラバス内容の改善 ④ 担任制(役割と責任の明確化)の継続 <アドバイザー教員> ・ 退学防止に向け、アドバイザー教員による入学当初（4、5月）からの面談、出席状況・成績を確認し、必要に応じ各部署等との連携（大学全体でのサポート） <保護者懇談会（1・2 回生）> ・ 退学防止に向けた、保護者との懇談および学生、大学の情報提供と共有 <テヅカポートフォリオ導入による学習状況の把握> ・ 「テヅカポートフォリオ」における半期ごとの振り返り活動の実施 ・ アドバイザー教員が面談でフォローする体制を確立 ・ 学修に対する学生の自己評価等を教員が継続的に把握
-----------	--

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) Students First の大学づくり (学生面倒見の良さ NO.1)	⑤ 就職支援 NAVI の活用 <就職支援 NAVI のデータ分析> ・ 学生の状況を就職支援 NAVI へ集約 ・ 過去のデータから進路未決定者の理由を分析 ・ 分析データから就活支援施策のプラン策定および実施 ⑥ 食堂、図書館の改善 <食堂> ・ Edy 付学生証を使って配膳待ち時間の削減と食堂売上管理の効率化 <図書館> ・ ワンキャンパス化に伴い、帝塚山学院大学の顔となる特徴的な図書館を実現 ・ 改修および図書の集約作業が実施中も、可能な限り全館閉鎖しないよう計画 ・ 狭山館と泉ヶ丘館の集約に伴う蔵書点検を実施。図書データと現物との突合作業による資産管理 ⑦ 削減対象図書の引受先を探す(引渡時期は 2021 年 4 月以降) ⑦ 外部機関等を活用した「社会貢献講座」の企画 ・ 学生を対象としたセミナー開講 ⑧ ワンキャンパス化改修工事に伴う学生の安全面の担保 ・ 安全な教育環境を担保 ⑨ 学生ニーズ等の情報収集・分析システムの構築 <各部署、各学科での IR 活動の加速化> ・ 信頼できるデータをタイムリーに蓄積するデータ収集・蓄積運用の確立 ・ 活用頻度の高いデータのファイルサーバによる共有と分析パターンのテンプレート化 ⑩ 部活動等の活性化 <部活動サポート> ・ 部活動活性化に向け、ヒアリングを実施し、活動の問題、障害などを発見・共有。問題解決を図り安定した活動を支援 ⑪ 学部・学科再編の検討、実施 <大学改革第 2 ステップの具体化> ・ 学院改革会議・大学部会の中で、第 2 ステップの大学将来像を具体化

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) Students First の大学づくり (学生面倒見の良さ NO.1)	⑫ 4年以内の退学者率改善 ＜学生情報の一元化(共有・可視化)＞ - 入学前教育プログラムから得た学生データ、面談記録などを就職支援ナビにデータ入力し学生サポートに活用 - 修学支援新制度や本学独自の奨学金制度等による経済的サポート、学生生活満足度調査による、学生ニーズ、改善要望の把握と実現の検討と実施 ＜アドバイザー教員による、出席状況の把握と支援の早期化＞ - 出席状況の把握による、早期支援体制の確立 「基礎演習」を活用した各学科と基盤教育機構による協働 - GPA 基準による学習面談の継続実施と検証 - 半期ごとに面談等でフォローし、支援を充実 ⑬ 実質就職率の向上 ＜学生特性に応じた就職支援の実施＞ - 優良企業志望者向けプログラムの実施 - 就活支援対策基本プログラムの実施 - コミュニケーションが苦手な学生支援 ⑭ 地域連携事業の推進 - 自治体、地域の企画事業への参加学生の推進 - 学生の市民活動への参加推進

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

1. 教育力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 教育の質保証	① 教員評価実施 <教育活動の向上に繋がる評価方法への改善> ・ 管理職への評価研修会の実施 ・ 大学運営活動領域の評価項目の再検討 ・ 対面評価の改善による信頼性の向上 ② FD研修会の内容を明記して定期的の実施 <学生の学びの向上、教員のティーチングスキル向上と共有> ・ 専門分野の特性に合わせた学科単位の効果的なFD実施 ・ 学生によるFD活動を支援し、授業改善に学生意見を反映 ・ FD研修の成果の検証。 ③ 教員相互の授業参観の実施 ・ 授業実施者と見学者が相互学習できる仕組みを構築
(3) 大学改革計画の策定・実施	① キャンパス統合 <2021年4月の円滑な授業開始> ・ 鴻池組とパソナ・パナソニックビジネス、その他業者工事と引越し等の全体統制により廃物品の有効活用と新規設置を計画通りに推進 ・ 事務局や研究室の再編に伴い電子機器（複合機、プリンタ）を大学の全体管理に基づき再配置し、効率的な運営を実現

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

1. 教育力の強化	実施目標・計画 (3) 大学改革計画の策定・実施 ② 教育課程再編 ＜基盤教育機構設置による豊かな学びの実現＞ ・ 基盤教育、教学開発に関する企画、実施、評価の遂行 ・ 社会連携機構との協働による「カレッジコミュニティ」の拡充と開発 ・ テヅカポートフォリオによる学びの振り返りと学修成果に基づく育成方法の明確化 ・ 論理能力、情報リテラシー、英語、日本語教育の達成度に応じた補習授業の検討 ・ 初年次の大学適応プログラム（入学前教育、リメディアル教育）の改善（実施方法、内容等） ・ 授業改善、教授法、教育評価法などの検討、提案、学内FDの企画実施、アクティブラーニング等の実践的指導 ＜新リベラルアーツ学科教育・学習プログラムの実践＞ ・ メジャー・マイナー制度を中心に、特色ある学修を展開 ・ 新1回生がカリキュラムに対する理解を深め、4年間の学修プログラミングを開始できるようサポート ＜学科の一体感醸成とFD活動の充実＞ ・ 教育プログラム運営に関する徹底した議論と活動 ・ 2回生以降の運営について具体的に計画し、準備 ・ 学科教員同士が教育方法やスキルを情報交換 ・ アクティブラーニングの実践方法をトピックとし、指導力の強化を目標としたFDを実施 ＜学科定員を指標とした適正な範囲の募集の実現＞ ・ 指定校の見直し ・ オープンキャンパス学科ブースの運営を見直し、各専攻でバランスのよい学生数を募集
-----------	---

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

2. 組織力の強化	実施目標・計画 (1) ガバナンスの強化 ① 広報組織の強化 <大学ブランディングの強化> ・ キービジュアルの制作 ・ 大学公式サイトのフルリニューアル ・ 入試情報サイトのバージョンアップ ・ 大学案内誌のリニューアル <インナーコミュニケーションの強化> ・ 2019年にフルリニューアルを行った「大学通信(コニファコロン)」ウェブ版のグローバルウェア上トライアルを実施 ② 組織における権限と責任の明確化 <委員会等組織の再編> ・ 委員会(担当)数を削減し、運営の見直しと効率化を徹底 ・ 大学改革の第2ステップに向け、指示系統を再整理し、学長会議を決定機関としたガバナンス体制を明確化 ・ 教職員管理職の在り方と実効性の確保 ③ 大学改革方針に基づくプロジェクトの実施 <各プロジェクトの検証と評価の実施> ・ 教育課程再編プロジェクトは、新たな3ポリシーに基づいた大学プロジェクトの組織の見直し、総括。 ・ 人材育成構想を策定。 ・ 学修成果可視化システム(テジカポートフォリオ)の初年度運用と学学マネジメント体制の確立。 ④ 中期計画に従い、各年の目標を検証し、全教職員で意識共有 <全学方針に基づく運営とPDCAサイクルの実践> ・ 中期計画に則った事業運営と、認証評価機関の評価基準による自己点検・評価、アセスメント・ポリシーに基づく教学アセスメントを実施。 ⑤ IR担当組織およびエンロールマネジメント体制の確立 ・ データを活用した業務改革に向けた、実組織の教学IR担当キーマン育成 ・ 学校教育法施行規則に則った説明責任の全うのためのタイムリーな情報公表
-----------	---

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

2. 組織力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 大学事務組織の見直し	① Students Firstの大学づくりを目指した組織改編の実行と検証 ・ 今年度重点項目となる「中退予防」の所管部署である学生生活課を独立。国の高等教育施策の変化に迅速に対応するため、教学企画センターを設置 ・ 2 階事務センター(仮称)が 2020 年 4 月末竣工予定。教学企画センター・学生支援センターとキャリアセンターのワンストップサービスが可能となり、学生への修学支援の実現が可能 ② 帝塚山学院大学の将来を担う若手職員の育成 ・ OJT による若手育成は各部署で行われているが、大学職員としての基礎知識を学ばせる環境の醸成。 ・ 若手職員の私大協会等学外研修の積極的な参加 ③ SD 研修会の内容を明記して年 6 回以上実施 ・ 実際の業務に応じた、実践的な SD 研修会の実施

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1)入学定員100%の充足	① 入学者選抜方法の検証と改善 ・ 2020年度入試の分析・検証を基に、学科・試験区分ごとに入学者目標数を設定し、常に委員会で達成状況を共有 <入学者の質向上> ・ A O入試（総合型選抜）の競争率の向上 ・ 協定校特別推薦の推薦基準と推薦人数の見直し <入試改革> ・ 入試改革初年度となるため、各入試方式において、入試ミスを防ぐ ・ 競合大学の2021年度入試実施状況の調査、分析を行う ・ 本学の2021年度入試を評価し2022年度に改善を図る ② 入学者目標(430名)の達成 ・ 学科別入学者目標：リベラル144、心理156、食物130 <制作> ・ 2022年度大学案内誌のリニューアルを行う 品質向上、予算適正化のため業者の見直し実施 <イベント> ・ 出願受付直前の時期に入試個別相談会を年2回実施 ・ 学校推薦型選抜・公募制と一般選抜に向けた入試対策講座を実施 ③ オープンキャンパス参加人数目標値実数の達成 ・ 動員目標1,200名、うち高校3年生860名以上 <出願率の向上> ・ 参加者の出願率目標を48%に設定。 ・ 泉ヶ丘キャンパスでの一ヶ所開催初年度につき運営の見直し ・ 改修工事に伴う制限もあり、安全性に配慮しながらも、出願確率の高い層の動員を図る ④ 指定校および高校訪問校の見直しと高校訪問体制の改善、高校訪問者への研修会の実施 <指定校推薦入試入学者数の適正化> ・ 対象高校の削減と推薦基準・推薦人数を大幅に修正 ・ 協定校・特別指定校・指定校での入学者における入学金優遇措置の見直し <高校訪問体制の見直し> ・ 定例高校訪問戦略会議の継続 ・ 高校ランクと出願者・入学者数に基づき、各担当者が訪問回数と入学目標数を設定し年度末に検証する

6. 2020年度事業報告（大学、大学院）

3. 財務基盤力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 外部資金の獲得	① 競争的補助金の獲得 ・ 私立大学等改革総合支援事業選定のため、全学を挙げて申請準備 ・ 経常費補助金の教育の質に係る客観的指標に対応し、大学HP「情報公開」を更新
(3) 人件費の抑制	① カリキュラムの見直しによる非常勤講師数の削減 ＜2020年度開講科目の検証と、クラスサイズの見直しによる開講クラス数のスリム化＞ ・ 非常勤講師の全学的な採用プロセスの導入 ② ワンキャンパス化に向けての教職員組織のスリム化 ・ 新教育課程への移行に伴う専任担当コマ数の調整を継続し、担当可能科目があれば8コマまでの増担を要請
(4) 物件費の削減	① 予算管理の徹底 ＜ワンキャンパスに伴う大学運営の仕組みの再構築＞ ・ Edy付き学生証へ転換し、食堂、自動販売機、売店のキャッシュレス化 ・ ネットワーク防犯カメラ、自動証明書発行機の設置で、安全安心な大学生生活環境を実現し、事務管理の煩雑さの低減を図る。 ・ 入学金、学費等の銀行振込の仕組みを見直し、振込方法の多様化と振込管理のアウトソースにより利便性の向上と漏れのない振込管理を実現。 ・ 清掃、警備、営繕などの日常業務に対し、日常的対応と中長期対応計画を立案し、予防的な施設管理を実現

7. 2020年度学生異動及び卒業生の進路

帝塚山学院幼稚園 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況】

平成	年少（3年保育）			募集定員	定員充足率 %	年中（2年保育）			年長（1年保育）		
	志願者数	合格者数	入学者数			志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
2017年度	43【5】	43【3】	41【3】	48	85.4	7【2】	7【2】	5【2】	2【2】	2【2】	2【2】
2018年度	60【2】	52【2】	50【2】	48	104.2	3【1】	3【1】	3【1】	1【1】	1【1】	1【1】
2019年度	60	50	50	48	104.2	7【1】	6【1】	6【1】	2【1】	2【1】	2【1】
2020年度	56【5】	54【4】	50【4】	48	104.2	5【3】	5【3】	5【3】	1【1】	0	0
2021年度	61【7】	58【6】	53【6】	48	110.4	2【2】	2【2】	2【2】	0	0	0

【 】は11, 12, 1, 2, 3, 4月入試者数、内数。

【在園状況】

平成	年少			年中			年長			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2017年度	15	26	41	13	34	47	14	34	48	42	94	136
2018年度	19	31	50	16	29	45	12	35	47	47	95	142
2019年度	14	36	50	21	32	53	17	31	48	52	99	151
2020年度	18	32	50	16	38	54	18	31	49	52	101	153
2021年度	20	33	53	19	32	51	16	40	56	55	105	160

【退園状況】

平成	異 動 理 由	人 数
2016年度	1. 一身上の理由	
	2. 住所変更	1
2017年度	1. 一身上の理由	1
	2. 住所変更	1
2018年度	1. 一身上の理由	4
	2. 住所変更	
2019年度	1. 一身上の理由	4
	2. 住所変更	3
2020年度	1. 一身上の理由	3

【進学状況】2020年度卒園生

進 学 先		人 数	
私立小学校		男子	女子
私立小学校	帝塚山学院	10	24
	洛南	1	1
	追手門学院	1	1
	城星学院		2
国公立小学校	関西大学	3	1
		3	3
	総 計	18	31

【入試状況】

	新1年										募集定員	定員充足率 %
	志願者			合格者			入学者					
	内部		計	内部		計	内部		外部	計		
2017年度	44	80	124	44	76	120	44	64	108	114	94.7	
2018年度	42	75	117	41	72	113	40	66	106	114	93.0	
2019年度	39	89	128	39	81	120	35	80	115	114	100.9	
2020年度	32	137	169	32	88	120	32	83	115	114	100.9	
2021年度	37	109	146	37	101	138	34	80	114	114	100.0	

【在籍状況】

	1年			2年			3年			4年			5年			6年			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2017年度	26	82	108	44	72	116	29	83	112	37	75	112	34	80	114	27	84	111	197	476	673
2018年度	41	65	106	29	83	112	44	72	116	28	85	113	37	79	116	34	79	113	213	463	676
2019年度	35	80	115	41	66	107	25	82	110	44	72	116	27	86	113	37	78	115	212	464	676
2020年度	32	83	115	35	77	112	42	67	109	29	81	110	43	72	115	26	86	112	207	466	673
2021年度	40	74	114	31	83	114	35	76	111	42	66	108	28	80	108	43	71	114	219	450	669

【転学状況】

	異 動 理 由		人 数	
2016年度	1. 一身上の理由		1	7
	2. 留学		0	
	3. 住所変更		6	
2017年度	1. 一身上の理由		4	4
	2. 留学		0	
	3. 住所変更		0	
2018年度	1. 一身上の理由		6	9
	2. 留学		0	
	3. 住所変更		3	
2019年度	1. 一身上の理由		5	11
	2. 留学		1	
	3. 住所変更		5	
2020年度	1. 一身上の都合		6	
	2. 留学		0	10
	3. 住所変更		4	

【進学状況】２０２０年度卒業生

進 学 先	人 数	
	男子	女子
私立中学校		
帝塚山学院	0	45
帝塚山学院泉ヶ丘	3	9
学院小計	3	54
		57

私立中学校	東大寺学園	1		1
	大阪星光	1		1
	清風	4		4
	甲南	1		1
	明星	1		1
	神戸女学院		2	2
	四天王寺		6	6
	大阪女学院		1	1
	大谷		4	4
	ブール学院		1	1
	武庫川女子		1	1
	洛南		1	1
	清風南海	5	3	8
	大阪桐蔭	1		1
	帝塚山学園		1	1
	同志社香里	1	3	4
	浪速	3	1	4
	初芝立命館	1	1	2
	関西大学北陽		1	1
	近畿大学附属		3	3
	追手門大手前	1		1
	大阪学芸	1		1
	賢明学院	1		1
	羽衣学園	1		1
学院外 私立小計		23	29	52

私立合計	26	83	109
------	----	----	-----

進 学 先	人 数	
	男子	女子
公立中学校		
公立中学校		1
その他学校・留学		1
大教大付属平野		1
公立中学校・その他学校合計	0	3
		3

総 計	26	86	112
-----	----	----	-----

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 入試・在籍・退学・進学状況

1) 入試状況

	新 1 年			入学定員	定員充足率
	志願者	合格者	入学者		
2017年度	850	609	191	160	119.4%
2018年度	839	581	173	140	123.6%
2019年度	810	503	155	140	110.7%
2020年度	812	564	157	140	112.1%
2021年度	942	641	167	140	119.3%

2) 在籍者数

		1年			2年			3年			計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
2017年度	男	76	61	63	115	112	99	191	173	162	200
	女	115	112	99	191	173	162	200	188	171	326
	計	191	173	162	306	285	261	391	361	333	526
2018年度	男	77	75	61	96	115	111	173	190	172	213
	女	96	115	111	173	190	172	200	215	188	322
	計	173	190	172	269	305	283	373	405	360	535
2019年度	男	57	77	73	98	96	115	155	173	188	207
	女	98	96	115	155	173	188	200	215	194	309
	計	155	173	188	253	269	303	355	388	382	516
2020年度	男	61	57	76	96	98	95	157	155	171	194
	女	96	98	95	157	155	171	204	200	194	289
	計	157	155	171	253	253	266	361	355	365	483
2021年度	男	63	60	57	104	96	97	167	156	154	180
	女	104	96	97	167	156	154	204	194	188	297
	計	167	156	154	271	250	251	371	350	342	477

3) 転学者数

	異動理由		計
	1. 一身上の理由	2. 進路変更	
2016年度	2名	0名	2名
2017年度	1. 一身上の理由	1名	2名
	2. 進路変更	1名	
2018年度	1. 一身上の理由	1名	2名
	2. 進路変更	1名	
2019年度	1. 一身上の理由	2名	2名
	2. 進路変更	0名	
2020年度	1. 一身上の理由	0名	2名
	2. 進路変更	2名	

4) 進学先

1. 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	162
2. その他	9
3. 中学浪人	0
4. 海外留学	0

1) 入試状況

	新 1 年									入学定員	定員充足率
	志願者			合格者			入学者				
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計		
2017年度	181	361	542	181	354	535	181	130	311	260	119.6%
2018年度	157	384	541	157	381	538	157	142	299	260	115.0%
2019年度	165	492	657	165	484	649	165	123	288	280	102.9%
2020年度	177	403	580	177	397	574	177	115	292	280	104.3%
2021年度	162	453	615	162	451	613	162	172	334	280	119.3%

2) 在籍者数

		1年	2年	3年	計
2017年度	男	139	123	103	365
	女	172	149	150	471
	計	311	272	253	836
2018年度	男	138	139	120	397
	女	161	165	148	474
	計	299	304	268	871
2019年度	男	114	135	136	385
	女	174	161	161	496
	計	288	296	297	881
2020年度	男	130	112	135	377
	女	162	173	156	491
	計	292	285	291	868
2021年度	男	161	126	110	397
	女	173	162	171	506
	計	334	288	281	903

3) 転退学者数

	異動理由	計	
		1. 一身上の理由	3名
2016年度	2. 進路変更	6名	9名
2017年度	1. 一身上の理由	4名	11名
	2. 進路変更	7名	
2018年度	1. 一身上の理由	4名	10名
	2. 進路変更	6名	
2019年度	1. 一身上の理由	4名	9名
	2. 進路変更	5名	
2020年度	1. 一身上の理由	5名	10名
	2. 進路変更	5名	

*合格者数は延べ人数です。()内は現役生。

4月6日判明分

国公立大学 計 95名(84名)

国立大学	合格者数
大阪	3 (2)
神戸	4 (3)
北海道	2 (2)
東北	1 (1)
東京工業	1 (0)
北見工業	2 (2)
電気通信	2 (2)
横浜国立	2 (2)
三重	1 (1)
福井	1 (0)
大阪教育	5 (4)
奈良女子	3 (2)
奈良教育	1 (1)
和歌山	14 (14)
鳥取	1 (1)
島根	2 (2)
広島	2 (2)
山口	1 (1)
徳島	3 (3)
香川	1 (1)
熊本	1 (1)
長崎	1 (0)
公立大学	合格者数
大阪市立	8 (8)
大阪府立	8 (7)
福島県立医科	1 (1)
金沢美術工芸	1 (0)
高崎経済	1 (1)
新潟県立	1 (0)
愛知県立	1 (1)
名古屋市立	1 (1)
京都府立	1 (1)
神戸市看護	1 (1)
神戸市外国語	1 (1)
兵庫県立	5 (5)
奈良県立	1 (1)
和歌山県立医科	2 (2)
岡山県立	3 (2)
広島市立	1 (1)
福山市立	1 (1)
山口東京理科	2 (2)
高知工科	1 (1)

私立大学

大学名	合格者数
帝塚山学院	11 (11)
慶応	2 (1)
早稲田	5 (3)
明治	1 (1)
立教	1 (1)
青山学院	1 (1)
東京理科	5 (5)
同志社	28 (26)
立命館	40 (31)
関西学院	37 (35)
関西	69 (57)

医学部医学科 計 25名(9名)

大学名	合格者数
大阪市立	1 (1)
和歌山県立医科	2 (2)
近畿	7 (3)
関西医科	3 (1)
兵庫医科	2 (0)
金沢医科	1 (0)
埼玉医科	1 (1)
岩手医科	1 (0)
愛知医科	2 (0)
藤田医科	1 (0)
川崎医科	4 (1)

歯学部 計 15名(11名)

大学名	合格者数
大阪	1 (1)
東北	1 (1)
昭和	1 (1)
日本歯科	1 (0)
日本	1 (0)
大阪歯科	6 (5)
朝日	2 (2)
愛知学院	1 (0)
松本歯科	1 (1)

薬学部 計 43名(38名)

大学名	合格者数
広島	1 (1)
東京理科	1 (1)
近畿	3 (3)
京都薬科	5 (5)
大阪薬科	7 (6)
神戸薬科	4 (3)
同志社女子	2 (1)
武庫川女子	4 (4)
大阪大谷	2 (2)
摂南	8 (7)
大阪医科薬科	1 (1)
神戸学院	4 (3)
兵庫医療	1 (1)

獣医学部 計 1名(1名)

大学名	合格者数
岡山理科	1 (1)

帝塚山学院高等学校 入試・在籍・退学・進学状況

【入試状況】

	新 1 年										募集定員	定員充足率 %
	志願者			合格者			入学者					
	外部		計	外部		計	外部		計			
	内部	外部	計	内部	外部	計	内部	外部	計			
2017年度	212	57	269	212	57	269	212	41	253	240	105.4	
2018年度	243	36	279	243	36	279	243	27	270	240	112.5	
2019年度	231	37	268	231	37	268	231	31	262	240	109.2	
2020年度	205	36	241	205	36	241	205	22	227	210	108.1	
2021年度	225	51	276	225	51	276	225	32	257	230	111.7	

【在籍状況】

	1年		2年		3年		合 計
	女	子	女	子	女	子	
2017年度	253		246	【1】	254		753
2018年度	271	【1】	244		241		756
2019年度	264		259		237		760
2020年度	227		257		256		740
2021年度	257		223		255		735

【 】は留年者数、内数。

【転退学状況】

	異 動 理 由		人 数	
2016年度	1. 一身上の理由		1	
	2. 進路変更		9	10
	3. その他		0	
2017年度	1. 一身上の理由		2	
	2. 進路変更		11	13
	3. その他		0	
2018年度	1. 一身上の理由		3	
	2. 進路変更		14	17
	3. その他		0	
2019年度	1. 一身上の理由		0	
	2. 進路変更		9	10
	3. その他		1	
2020年度	1. 一身上の理由		2	
	2. 進路変更		8	10
	3. その他		0	

【進学状況】2020年度卒業生（255名）

合格実績					
	現役	既卒	合計	短大等	短大
大学					
京都	1		1	短大等	短大
宮崎・医・医	1		1		4
大阪市立	1		1		3
大阪府立	1		1		14
大阪教育	1		1		21
和歌山	1		1		0
兵庫県立	1		1		376
横浜市立	1		1		6
金沢	1		1		382
静岡	1		1		0
島根	1		1		11
同志社	10		10		11
関西	18		18		393
関西学院	121		121		
立命館	5		5		
京都産業	2		2		
近畿	27	3	30		
甲南	5		5		
龍谷	4		4		
神戸学院	10		10		
摂南	6	1	7		
追手門学院	2	2	4		
桃山学院	9		9		
京都ノートルダム	1		1		
京都女子	1		1		
甲南女子	10		10		
神戸女学院	8		8		
神戸女子	1		1		
同志社女子	7		7		
武庫川女子	5		5		
関西医科	2		2		
関西外国語	5		5		
森ノ宮医療	3		3		
神戸薬科	1		1		
大阪医科薬科	1		1		
大阪歯科	3		3		
帝塚山学院	32		32		
その他4年制大学	45		45		
小計	355	6	361		

※ 合格者数は延べ人数
 ※ 宝塚音楽学校合格者3名のうち2名は卒業年次以外での合格

帝塚山学院大学 入試・在籍・退学・進路状況

【入試状況報告】

	2017年度					2018年度					2019年度					2020年度					2021年度					
	リベラル アーツ	キャリア 英語	情報	心理	食物 管理	食物 健康	全体	リベラル アーツ	キャリア 英語	情報	心理	食物 管理	食物 健康	全体	リベラル アーツ	キャリア 英語	情報	心理	食物 管理	食物 健康	全体	リベラル アーツ	心理	食物 管理	食物 健康	全体
募集定員	130	50	70	150	80	401	520	130	50	70	150	80	401	520	120	30	50	130	80	401	370	120	130	80	401	370
受験者	98	52	83	235	241	571	766	264	147	165	487	364	152	1579	746	253	492	793	287	196	2767	1325	1081	339	307	3052
合格者	92	44	70	211	157	51	625	230	125	153	401	266	131	1306	357	150	260	411	248	178	1604	324	280	220	178	1002
入学者	66	20	48	114	75	37	360	96	45	46	134	79	25	425	149	53	77	143	80	45	547	190	145	90	47	472
定員充足率	50.8%	40.0%	68.6%	76.0%	93.8%	92.5%	69.2%	73.8%	90.0%	65.7%	89.3%	98.8%	62.5%	81.7%	124.2%	176.7%	154.0%	110.0%	100.0%	112.5%	121.6%	158.3%	111.5%	112.5%	117.5%	127.6%

【大学 在籍者・退学状況】

在学者数(2021年4月1日現在)

リベラルアーツ学部												リベラル アーツ学部 前年度比増減												募集定員 募集定員比増減											
2017年度						2018年度						2019年度						2020年度						2021年度						2022年度					
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
26	40	66	39	57	96	27	122	149	44	146	190	38	108	146																					
23	49	72	23	35	58	38	51	89	26	115	141	41	143	184																					
23	37	60	21	44	65	18	36	54	36	47	83	24	108	132																					
47	47	94	30	40	70	23	48	71	21	40	61	37	49	86																					
119	173	292	113	176	289	106	257	363	127	348	475	140	408	548																					

人間科学部情報メディア学科																		情報メディア学科 前年度比増減		募集定員		募集定員比増減										
2017年度						2018年度						2019年度						2020年度		2021年度												
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
35	13	48	35	11	46	45	32	77	0	0	0																					
30	12	42	34	12	46	35	10	45	43	31	74																					
20	15	35	28	12	40	34	10	44	30	10	40	40	30	70																		
41	12	53	23	15	38	33	12	45	41	11	52	34	10	44																		
126	52	178	120	50	170	147	64	211	114	52	166	74	40	114																		

人間科学部心理学科																		心理学科 前年度比増減		募集定員 募集定員比増減													
2017年度						2018年度						2019年度						2020年度						2021年度									
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
41	73	114	46	88	134	68	75	143	43	102	145	53	115	168																			
43	71	114	40	72	112	46	86	132	67	65	132	42	97	139																			
40	59	99	41	70	111	37	70	107	42	76	118	57	59	116																			
52	92	144	45	62	107	43	75	118	41	72	113	46	77	123																			
176	295	471	172	292	464	194	306	500	193	315	508	198	348	546																			

人間科学部食物栄養学科												食物栄養学科 前年度比増減		募集定員		募集定員比増減															
2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度															
男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
15	97	112		11	93	104		19	106	125		21	116	137		19	89	108		△	29			120		△	12				
16	129	145		13	96	109		9	92	101		18	104	122		19	111	130		8			20		△	10					
17	113	130		16	127	143		13	94	107		9	88	97		18	101	119		20			20		△	20					
15	116	131		19	116	135		17	130	147		15	102	117		15	94	109		△	8			20		△	20				
63	455	518		59	432	491		58	422	480		63	410	473		71	395	466		△	7			430		△	4				

人間科学部キャリア英語学科												キャリア英語学科 前年度比増減		募集定員		募集定員比増減	
2017年度				2018年度				2019年度				2020年度		2021年度			
男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計			
8	12	20		22	23	45		27	26	53	0	0	0	0			
11	12	23		18	19	37		19	22	41	25	24	49				
7	14	21		11	12	23		8	11	19	21	21	42	22	24	46	4
				17	14	31		13	14	27	10	13	23	22	23	45	50
				48	60	108		67	73	140	56	58	114	44	47	91	22
26	38	64															26
																	100
																	28
																	46
																	4
																	5
																	4
																	4
																	5
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4
																	4

大学全体												前年度比増減		募集定員		募集定員比増減				
2017年度						2018年度						2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
125	235	360	153	272	425	136	281	417	547	108	472	110	312	422	△	50	△	30	△	52
123	238	361	147	276	423	140	281	421	547	109	472	102	357	459	△	65	△	63	△	30
107	273	380	119	265	384	110	291	401	531	138	442	161	322	483	△	85	△	80	△	37
155	267	422	124	247	371	129	219	408	428	238	366	54	253	407	△	47	△	50	△	113
510	1613	2123	512	1010	1522	522	1122	1624	1521	1833	3356	154	1238	1767	△	79	△	70	△	35
									1694	553	1736	52	1238	1767	△	1300	△	1300	△	1300

業 種	帝塚山学院大学							
	大学計	リベラルアーツ学部						学部計
		リベラルアーツ学科 (L)	情報メディア学科 (C)	心理学科 (H)	食物栄養学科 管理栄養士課程 (N)	食物栄養学科 健康実践栄養士課程 (NP)	キャリア英語学科 (S)	
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	
1 農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
2 建設業	4	1	0	1	0	1	1	3
3 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0
4 製造業	10	1	0	4	2	1	2	9
5 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0
6 情報通信業	13	1	6	4	0	1	1	12
7 運輸業、郵便業	8	1	1	4	1	0	1	7
8 卸売業	16	2	3	7	2	0	2	14
9 小売業	44	8	6	8	11	11	0	36
10 金融・保険業	5	0	1	3	1	0	0	5
11 不動産・物品賃貸業	3	2	0	0	0	1	0	1
12 学術研究、専門・技術サービス業	4	2	1	1	0	0	0	2
13 宿泊業・飲食サービス業（除給食業）	13	4	1	4	1	1	2	9
14 給食業	26	0	0	0	19	7	0	26
15 生活関連サービス・娯楽業	7	1	2	3	0	1	0	6
16 教育、学習支援業	13	1	3	8	1	0	0	12
17 医療・福祉業	48	7	0	14	25	1	1	41
18 複合サービス事業	2	1	0	0	0	0	1	1
19 その他サービス業	17	1	8	6	2	0	0	16
20 公務	2	0	0	1	0	0	1	2
21 分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0

99 【進学】	10	2	1	5	2	0	0	8
---------	----	---	---	---	---	---	---	---

卒業者数	307	52	43	95	70	28	19	255
就職希望者数	256	38	36	74	67	26	15	218
進学希望者数	13	3	2	6	2	0	0	10
進学決定者数	10	2	1	5	2	0	0	8
就職者数	235	33	32	68	65	25	12	202
実就職率(就職者数/卒業者数-進学数)	79.1%	67.3%	78.0%	76.4%	95.6%	89.3%	63.2%	82.4%
就職率(就職者数/就職希望者数)	91.8%	86.8%	88.9%	91.9%	97.0%	96.2%	80.0%	92.7%

＊就職者は正規雇用者、自営業、個人事業主、非正規雇用者のうち契約期間が1年以上かつ一週間あたり30時間以上勤務を予定しているもの

【入試状況報告】

	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
	臨床心理学専攻	人間科学専攻	臨床心理学専攻	人間科学専攻	臨床心理学専攻	人間科学専攻	臨床心理学専攻	人間科学専攻	臨床心理学専攻	人間科学専攻
	情報・認知科学コース	健康科学コース	情報・認知科学コース	健康科学コース	情報・認知科学コース	健康科学コース	情報・認知科学コース	健康科学コース	情報・認知科学コース	健康科学コース
募集定員	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10
志願者	44	0	32	0	56	0	63	0	41	0
受験者	43	0	32	0	54	0	58	0	38	0
合格者	20	0	17	0	26	0	26	0	23	0
入学者	13	0	14	0	20	0	20	0	20	0
定員充足率	65%		70%		100%		100%		100%	0%

【就職等進路一覧】 2021年4月1日現在

【令和2年度修了者】		
雇用形態	職種	人数
常勤	心理職	3
非常勤	心理職	13
常勤	その他	1
合計		17

【在籍者・退学状況】

在学者数(2021年5月1日現在)

		2017年度						2018年度						2019年度						2020年度						2021年度						前年度比増減	募集定員	募集定員比増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		男			女			計			男			女			計			男			女			計			男						女			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1年	臨床	4	9	13	5	9	14	6	14	20	3	17	20	6	14	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

退学者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
異動理由	0	1	0	1
一身上の都合	0	1	0	1
計	0	1	0	1

IV 財務の概要

1 2020年度決算の概要

財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対照表を別掲していますが、事業活動収支計算書を基に決算の概要を以下の通りご説明します。

1 教育活動収支

教育活動収入は、前年比 160,916 千円増加の 6,828,819 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 学生生徒等納付金は前年度に比べ、86,355 千円の増加となりました。主に入学者が増加し、学生数が増加したことから補助金減に伴う納付金への振替によるものであり、総額は 4,628,317 千円となりました。

(単位：人)

	2019 年 5 月 1 日現在	2020 年 5 月 1 日現在
大学・大学院	1,715	1,769
住吉中高	1,490	1,505
泉ヶ丘中高	1,397	1,351
小学校	676	673
幼稚園	151	153
合計	5,429	5,451

() 内は、前年度決算額との増減を示し、△は減少額。

大学・大学院	2,166,434 千円	(26,635 千円)
住吉中高	1,041,330 千円	(24,769 千円)
泉ヶ丘中高	873,887 千円	(10,690 千円)
小学校	454,543 千円	(2,090 千円)
幼稚園	92,122 千円	(22,171 千円)
合計	4,628,317 千円	(86,355 千円)

- (2) 雑収入は、退職者の減少により退職金財団等交付金が前年比 43,439 千円減少したが、退職給与引当金戻入が 165,043 千円増加したにより、119,356 千円の増加となりました。

教育活動支出は、前年比 778,744 千円増加の 7,519,214 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 人件費のうち、教職員人件費は 4,048,241 千円と 45,873 千円増加となりました。退職金関係支出では、退職者増加による退職給与引当金繰入額等の増加が 38,187 千円となり、人件費全体では 84,060 千円増加の 4,399,979 千円となりました。

(2) 教育研究経費と管理経費の合計額は 695,537 千円増加しました。大学授業料減免交付金の奨学金 171,482 千円と大学キャンパスの統合費用 513,070 千円及びコロナ対策費用 119,537 千円の費用が発生したことによるものです。

以上の要因により教育活動収支差額は、前年比 617,828 千円収支悪化の 690,395 千円の赤字となりました。

2 教育活動外収支

収入の部は受取利息・配当金収入および収益事業収入の合計 25,402 千円となりました。支出の部は計上項目がなかったことにより、教育活動外収支差額は、25,402 千円の黒字となりました。

教育活動収支および教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、前年比 614,672 千円収支悪化の 664,994 千円の赤字となりました。

3 特別収支差額

収入の部は施設設備補助金収入等を合計 37,553 千円計上しました。支出の部は大学のキャンパス統合による資産処分差額等を 2,029,236 千円計上しました。以上の要因により特別収支差額は 1,991,683 千円の赤字となりました。

基本金組入前当年度収支差額は、前年比 2,599,506 千円収支悪化の 2,656,676 千円の赤字となりました。

4 基本金組入額

当年度は前年度より継続して実施しているトイレ改修などに加え、小学校内の教室の改修、高圧受配電機器更新及び高校以下ネットワーク環境整備等を実施したことなどから、194,946 千円計上しました。

当年度収支差額は前年比 2,527,765 千円収支悪化の△2,851,622 千円となり、基本金取崩額を加味した翌年度繰越収支差額は△6,096,270 千円となりました。

(1) 令和2年度財産目録

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

I 資産総額	22,119,120,250 円
うち 基本財産	17,409,361,150 円
運用財産	4,672,195,643 円
収益事業用財産	37,563,457 円
II 負債総額	3,545,291,336 円
III 正味財産	18,573,828,914 円

区 分		金 額
I 資産額		
(一) 基本財産		17,409,361,150 円
1 土地	152,991.09 m ²	2,494,546,470 円
2 建物	84,381.31 m ²	9,339,584,662 円
付属建物	126.32 m ²	9,765,145 円
構築物		280,139,806 円
3 図書	346,598 冊	1,040,868,500 円
4 教具・校具・備品	10,816 点	809,144,312 円
5 その他		3,435,312,255 円
(二) 運用財産		4,672,195,643 円
1 現金、預金		4,485,671,623 円
2 有価証券		0 円
3 その他		186,524,020 円
(三) 収益事業用財産		37,563,457 円
1 預金		37,034,857 円
2 未収入金		528,600 円
合 計		22,119,120,250 円
II 負債額		
(一) 固定負債		1,528,678,186 円
1 長期借入金		0 円
2 学校債		423,620,000 円
3 引当金		1,039,378,738 円
4 長期未払金		65,679,448 円
(二) 流動負債		2,015,358,050 円
1 短期借入金(短期学校債含む)		112,800,000 円
2 短期未払金		1,260,371,917 円
3 前受金		478,508,920 円
4 その他		163,677,213 円
(三) 収益事業用負債		1,255,100 円
1 未払法人税等		1,255,100 円
合 計		3,545,291,336 円
正味財産(資産総額－負債総額)		18,573,828,914 円

(2) 令和2年度資金収支計算書

比較資金収支計算書

令和 3年 3月31日

(単位: 円)

収入の部			
科 目	令和元年度	令和2年度	差 異
学生生徒等納付金収入	4,541,961,657	4,628,316,779	86,355,122
手数料収入	93,877,929	82,645,385	△ 11,232,544
寄付金収入	104,255,299	102,689,635	△ 1,565,664
補助金収入	1,428,938,692	1,518,731,333	89,792,641
資産売却収入	1,504,814,170	2,111,255,650	606,441,480
付随事業・収益事業収入	302,024,829	193,238,800	△ 108,786,029
受取利息・配当金収入	20,244,703	23,401,640	3,156,937
雑収入	215,156,482	169,469,304	△ 45,687,178
借入金等収入	91,100,000	94,400,000	3,300,000
前受金収入	462,815,620	478,508,920	15,693,300
その他の収入	1,384,975,144	1,330,143,542	△ 54,831,602
資金収入調整勘定	△ 690,959,597	△ 643,621,386	47,338,211
前年度繰越支払資金	3,754,126,784	3,723,252,268	△ 30,874,516
収入の部合計	13,213,331,712	13,812,431,870	599,100,158
支出の部			
科 目	令和元年度	令和2年度	差 異
人件費支出	4,365,693,966	4,344,235,688	△ 21,458,278
教育研究経費支出	1,260,806,916	1,859,145,717	598,338,801
管理経費支出	568,838,185	643,430,146	74,591,961
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	136,900,000	93,900,000	△ 43,000,000
施設関係支出	162,877,053	1,462,651,929	1,299,774,876
設備関係支出	213,693,291	313,986,754	100,293,463
資産運用支出	2,635,642,388	1,345,452,493	△ 1,290,189,895
その他の支出	662,324,346	527,051,936	△ 135,272,410
資金支出調整勘定	△ 516,696,701	△ 1,263,094,416	△ 746,397,715
翌年度繰越支払資金	3,723,252,268	4,485,671,623	762,419,355
支出の部合計	13,213,331,712	13,812,431,870	599,100,158

(3) 令和2年度活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入	4,628,316,779
		手数料収入	82,645,385
		特別寄付金収入	12,264,171
		一般寄付金収入	88,813,464
		経常費等補助金収入	1,487,408,333
		付随事業収入	191,238,800
		雑収入	169,469,304
		教育活動資金収入計	6,660,156,236
	支 出	人件費支出	4,344,235,688
		教育研究経費支出	1,859,145,717
		管理経費支出	643,430,146
		教育活動資金支出計	6,846,811,551
		差引	△ 186,655,315
		調整勘定等	805,120,739
		教育活動資金収支差額	618,465,424
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収 入	施設設備寄付金収入	1,612,000
		施設設備補助金収入	31,323,000
		施設設備売却収入	1,561,255,650
		減価償却引当特定資産取崩収入	300,000,000
		施設整備等活動資金収入計	1,894,190,650
	支 出	施設関係支出	1,462,651,929
		設備関係支出	313,986,754
		減価償却引当特定資産繰入支出	420,000,000
		施設整備等活動資金支出計	2,196,638,683
		差引	△ 302,448,033
		調整勘定等	△ 14,681,000
		施設整備等活動資金収支差額	△ 317,129,033
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)			301,336,391

		科 目	金 額
その他の活動による資金収支	収 入	借入金等収入	94,400,000
		有価証券売却収入	550,000,000
		第3号基本金引当特定資産取崩収入	4,370,000
		退職給与引当特定資産取崩収入	252,704,973
		学校債引当特定資産取崩収入	121,377,520
		法人諸引当特定資産取崩収入	50,000,000
		百周年施設設備引当特定資産取崩収入	350,000,000
		百周年奨学金引当特定資産取崩収入	54,000,000
		小計	1,476,852,493
		受取利息・配当金収入	23,401,640
		収益事業収入	2,000,000
		その他の活動資金収入計	1,502,254,133
	支 出	借入金等返済支出	93,900,000
		有価証券購入支出	550,000,000
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	4,370,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	152,704,973
		学校債引当特定資産繰入支出	121,377,520
		法人諸引当特定資産繰入支出	50,000,000
		百周年奨学金引当特定資産繰入支出	47,000,000
		預り金支払支出	21,222,485
		立替金支払支出	596,191
		小計	1,041,171,169
		借入金等利息支出	0
		解約損支出	0
		過年度修正支出	0
		その他の活動資金支出計	1,041,171,169
		差引	461,082,964
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	461,082,964
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		762,419,355
	前年度繰越支払資金		3,723,252,268
	翌年度繰越支払資金		4,485,671,623

(4) 令和2年度事業活動収支計算書

比較事業活動収支計算書

令和 3年 3月31日

(単位：円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		学生生徒等納付金	4,541,961,657	4,628,316,779	△ 86,355,122
		手数料	93,877,929	82,645,385	11,232,544
		寄付金	101,906,862	102,018,465	△ 111,603
		經常費等補助金	1,412,296,692	1,487,408,333	△ 75,111,641
		付随事業収入	300,024,829	191,238,800	108,786,029
		雑収入	217,835,171	337,191,328	△ 119,356,157
		教育活動収入計	6,667,903,140	6,828,819,090	△ 160,915,950
	事業活動支出の部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		人件費	4,315,918,787	4,399,978,648	△ 84,059,861
		教育研究経費	1,816,892,861	2,430,004,667	△ 613,111,806
		管理経費	606,805,315	689,231,182	△ 82,425,867
		徴収不能額等	853,600	0	853,600
		教育活動支出計	6,740,470,563	7,519,214,497	△ 778,743,934
教育活動収支差額		△ 72,567,423	△ 690,395,407	617,827,984	
教育活動外収支	事業収入の活動部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		受取利息・配当金	20,244,703	23,401,640	△ 3,156,937
		その他の教育活動外収入	2,000,000	2,000,000	0
		教育活動外収入計	22,244,703	25,401,640	△ 3,156,937
	事業支出の活動部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		22,244,703	25,401,640	△ 3,156,937
	經常収支差額		△ 50,322,720	△ 664,993,767	614,671,047
特別収支	事業収入の活動部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		資産売却差額	0	112,750	△ 112,750
		その他の特別収入	23,394,318	37,440,048	△ 14,045,730
		特別収入計	23,394,318	37,552,798	△ 14,158,480
	事業支出の活動部	科 目	令和元年度	令和2年度	差異
		資産処分差額	30,242,349	2,029,235,568	△ 1,998,993,219
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	30,242,349	2,029,235,568	△ 1,998,993,219
	特別収支差額		△ 6,848,031	△ 1,991,682,770	1,984,834,739
	基本金組入前当年度収支差額		△ 57,170,751	△ 2,656,676,537	2,599,505,786
基本金組入額合計		△ 266,686,583	△ 194,945,552	△ 71,741,031	
当年度収支差額		△ 323,857,334	△ 2,851,622,089	2,527,764,755	
前年度繰越収支差額		△ 9,744,137,327	△ 10,008,093,989	263,956,662	
基本金取崩額		59,900,672	6,763,445,679	△ 6,703,545,007	
翌年度繰越収支差額		△ 10,008,093,989	△ 6,096,270,399	△ 3,911,823,590	
(参考)					
事業活動収入計		6,713,542,161	6,891,773,528	178,231,367	
事業活動支出計		6,770,712,912	9,548,450,065	2,777,737,153	

(5) 令和2年度貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和 3年 3月31日

(単位: 円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	17,409,361,150	20,171,315,043	△ 2,761,953,893
有形固定資産	13,975,943,609	16,412,081,419	△ 2,436,137,810
土地	2,494,546,470	3,017,378,544	△ 522,832,074
建物	9,349,349,807	9,784,962,239	△ 435,612,432
構築物	280,139,806	262,229,713	17,910,093
教育研究用機器備品	710,471,613	567,694,350	142,777,263
図書	1,040,868,500	2,678,772,506	△ 1,637,904,006
その他の有形固定資産	100,567,413	101,044,067	△ 476,654
特定資産	3,361,370,000	3,698,370,000	△ 337,000,000
その他の固定資産	72,047,541	60,863,624	11,183,917
流動資産	4,672,195,643	3,924,905,394	747,290,249
現金預金	4,485,671,623	3,723,252,268	762,419,355
有価証券	0	0	0
その他の流動資産	186,524,020	201,653,126	△ 15,129,106
資産の部合計	22,081,556,793	24,096,220,437	△ 2,014,663,644

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,528,678,186	1,631,659,991	△ 102,981,805
学校債	423,620,000	416,420,000	7,200,000
退職給与引当金	1,039,378,738	1,151,357,802	△ 111,979,064
長期未払金	65,679,448	63,882,189	1,797,259
流動負債	2,015,358,050	1,270,363,352	744,994,698
学校債	112,800,000	119,500,000	△ 6,700,000
前受金	478,508,920	462,815,620	15,693,300
その他の流動負債	1,424,049,130	688,047,732	736,001,398
負債の部合計	3,544,036,236	2,902,023,343	642,012,893

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	24,633,790,956	31,202,291,083	△ 6,568,500,127
第1号基本金	24,073,420,956	30,641,921,083	△ 6,568,500,127
第3号基本金	124,370,000	124,370,000	0
第4号基本金	436,000,000	436,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,096,270,399	△ 10,008,093,989	3,911,823,590
翌年度繰越収支差額	△ 6,096,270,399	△ 10,008,093,989	3,911,823,590
純資産の部合計	18,537,520,557	21,194,197,094	△ 2,656,676,537

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部 合計	22,081,556,793	24,096,220,437	△ 2,014,663,644

監 査 報 告 書

令和 3 年 5 月 1 7 日

学校法人 帝塚山学院

理 事 会 御 中

学校法人 帝塚山学院

監 事 本 井 文 夫 ⑩

監 事 山 根 敬 介 ⑩

私たち学校法人帝塚山学院の監事は、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人帝塚山学院の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、また重要な決裁書類等を閲覧して業務の執行状況を監査いたしました。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関しては不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はなく、また令和2年度の学校法人帝塚山学院の財産の状況は適正なものと認められます。

以 上

(6)収益事業 貸借対照表

貸 借 対 照 表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	37,563,457	流 動 負 債	1,255,100
預 金	37,034,857	未払法人税等	655,100
未 収 入 金	528,600	未払消費税等	600,000
		(純 資 産 の 部)	
		利 益 剰 余 金	36,308,357
		その他利益剰余金	36,308,357
		別 途 積 立 金	3,500,000
		繰越利益剰余金	32,808,357
資 産 合 計	37,563,457	負債・純資産合計	37,563,457

(7)収益事業 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
受 取 割 戻 金	5,447,898	5,447,898
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
租 税 公 課	521,000	
寄 付 金	2,000,000	2,521,000
営 業 利 益		2,926,898
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	365	
雑 収 入	289,913	290,278
経 常 利 益		3,217,176
税 引 前 当 期 純 利 益		3,217,176
法人税、住民税及び事業税		316,600
当 期 純 利 益		2,900,576

2. 経年比較

(1) 資金収支の推移(平成28年度～令和2年度)

(単位:千円)

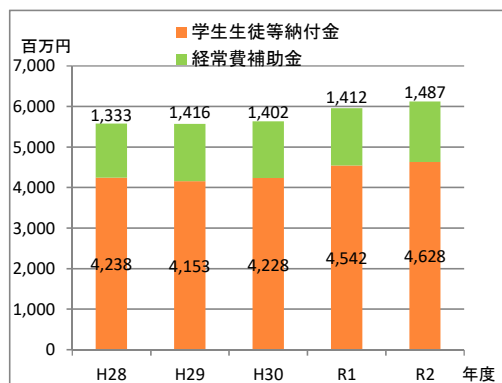
科 目		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,237,731	4,153,474	4,227,616	4,541,962	4,628,317
	手 数 料 収 入	68,001	67,937	82,048	93,878	82,645
	寄 付 金 収 入	239,656	154,840	119,325	104,255	102,690
	補 助 金 収 入	1,359,765	1,428,277	1,423,380	1,428,939	1,518,731
	資 産 売 却 収 入	1,769,500	710,230	967,897	1,504,814	2,111,256
	付随事業・収益事業収入	281,304	299,831	308,800	302,025	193,239
	受取利息・配当金収入	23,344	16,770	15,429	20,245	23,402
	雑 収 入	159,760	234,227	314,568	215,156	169,469
	借 入 金 等 収 入	112,000	91,800	88,100	91,100	94,400
	前 受 金 収 入	496,093	412,417	493,170	462,816	478,509
	そ の 他 の 収 入	2,123,859	2,436,554	1,943,173	1,384,975	1,330,144
	資金収入調整勘定	△ 660,239	△ 688,717	△ 690,454	△ 690,960	△ 643,621
	前年度繰越支払資金	3,478,857	3,844,151	3,877,124	3,754,127	3,723,252
	収入の部合計	13,689,630	13,161,792	13,170,176	13,213,332	13,812,432
支出の部	人 件 費 支 出	3,967,034	4,269,405	4,410,046	4,365,694	4,344,236
	教育研究経費支出	1,048,020	1,156,880	1,240,898	1,260,807	1,859,146
	管 理 経 費 支 出	602,471	499,585	564,672	568,838	643,430
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	112,970	109,500	119,380	136,900	93,900
	施設関係支出	88,677	228,358	310,364	162,877	1,462,652
	設備関係支出	130,500	132,380	190,339	213,693	313,987
	資産運用支出	3,697,924	3,069,999	2,677,443	2,635,642	1,345,452
	そ の 他 の 支 出	591,036	405,257	584,682	662,324	527,052
	資金支出調整勘定	△ 393,153	△ 586,697	△ 681,775	△ 516,697	△ 1,263,094
	次年度繰越支払資金	3,844,151	3,877,124	3,754,127	3,723,252	4,485,672
	支出の部合計	13,689,630	13,161,792	13,170,176	13,213,332	13,812,432

(2) 事業活動収支

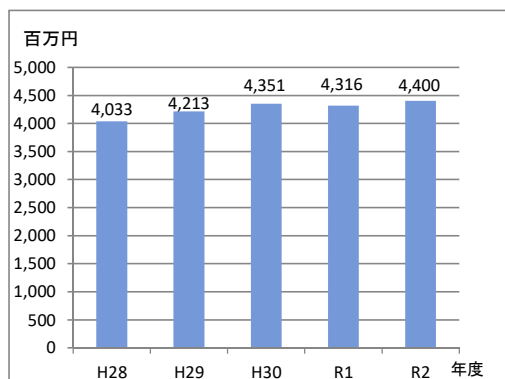
(単位：千円)

教育活動収支	収入の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
		学生生徒等納付金	4,237,731	4,153,474	4,227,616	4,541,962	4,628,317	①
		手数料	68,001	67,937	82,048	93,878	82,645	
		寄付金	124,739	154,740	114,554	101,907	102,018	②
		経常費等補助金	1,332,742	1,416,112	1,401,662	1,412,297	1,487,408	③
		付随事業収入	276,804	295,331	306,800	300,025	191,239	
		雑収入	165,685	266,181	362,204	217,835	337,191	
		教育活動収入計	6,205,701	6,353,776	6,494,885	6,667,903	6,828,819	④
	支出の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度	
		人件費	4,033,290	4,212,560	4,350,951	4,315,919	4,399,979	⑤
		教育研究経費	1,552,534	1,663,586	1,766,290	1,816,893	2,430,005	⑥
		管理経費	629,922	526,272	592,896	606,805	689,231	⑦
		徴収不能額等	0	180	1,314	854	0	
		教育活動支出計	6,215,747	6,402,598	6,711,451	6,740,471	7,519,214	⑧
教育活動収支差額		△ 10,046	△ 48,822	△ 216,566	△ 72,567	△ 690,395	⑨	
教育活動外収支	収入の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
		受取利息・配当金	23,344	16,770	15,429	20,245	23,402	
		その他の教育活動外収入	4,500	4,500	2,000	2,000	2,000	
		教育活動外収入計	27,844	21,270	17,429	22,245	25,402	⑩
	支出の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度	
		借入金等利息	0	0	0	0	0	⑪
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	⑫
	教育活動外収支差額		27,844	21,270	17,429	22,245	25,402	
経常収支差額		17,799	△ 27,551	△ 199,138	△ 50,323	△ 664,994	⑬	
特別収支	収入の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
		資産売却差額	0	230	0	0	113	
		その他の特別収入	147,488	16,195	29,919	23,394	37,440	
		うち、施設設備寄付金	115,020	100	4,975	3,121	1,612	⑭
		うち、施設設備補助金	27,023	12,165	21,718	16,642	31,323	⑮
		特別収入計	147,488	16,425	29,919	23,394	37,553	
	支出の部	科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
		資産処分差額	8,261	8,824	9,582	30,242	2,029,236	
		その他の特別支出	0	0	0	0	0	
		特別支出計	8,261	8,824	9,582	30,242	2,029,236	
特別収支差額		139,226	7,601	20,337	△ 6,848	△ 1,991,683		
基本金組入前当年度収支差額		157,025	△ 19,950	△ 178,801	△ 57,171	△ 2,656,677	⑯	
基本金組入額合計		△ 182,166	△ 250,070	△ 394,830	△ 266,687	△ 194,946	⑰	
当年度収支差額		△ 25,141	△ 270,021	△ 573,631	△ 323,857	△ 2,851,622		
前年度繰越収支差額		△ 8,894,453	△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137	△ 10,008,094		
基本金取崩額		6,000	0	13,108	59,901	6,763,446		
翌年度繰越収支差額		△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270		
(参考)								
事業活動収入計		6,381,033	6,391,472	6,542,233	6,713,542	6,891,774	⑰	
事業活動支出計(予備費含む)		6,224,008	6,411,422	6,721,033	6,770,713	9,548,450	⑲	
減価償却額		532,291	533,398	553,413	593,280	615,719	⑳	

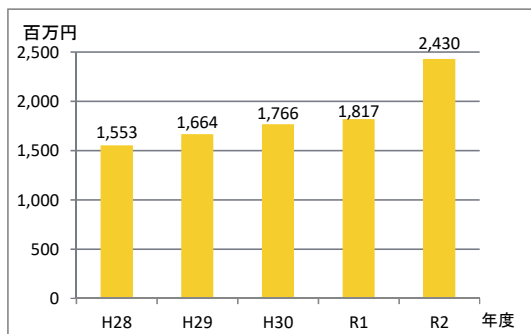
図表1 学生生徒等納付金＋補助金の推移



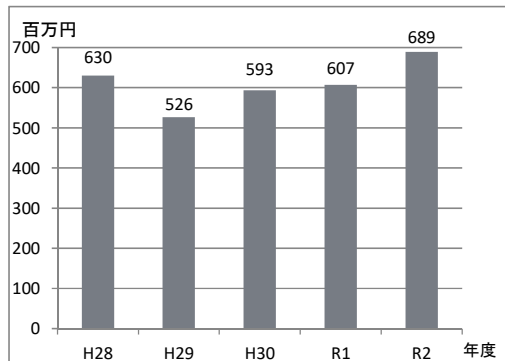
図表2 人件費の推移



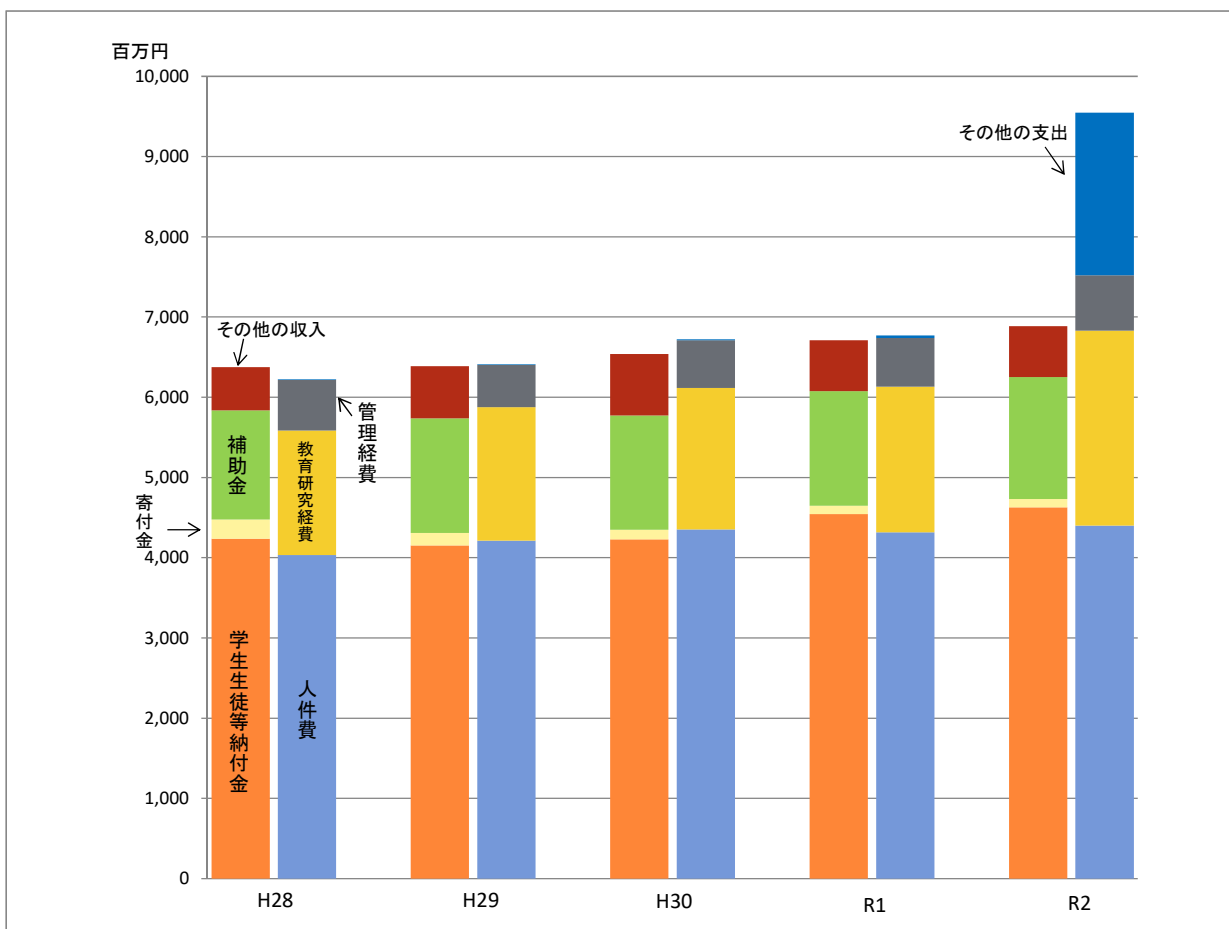
図表3 教育研究経費の推移



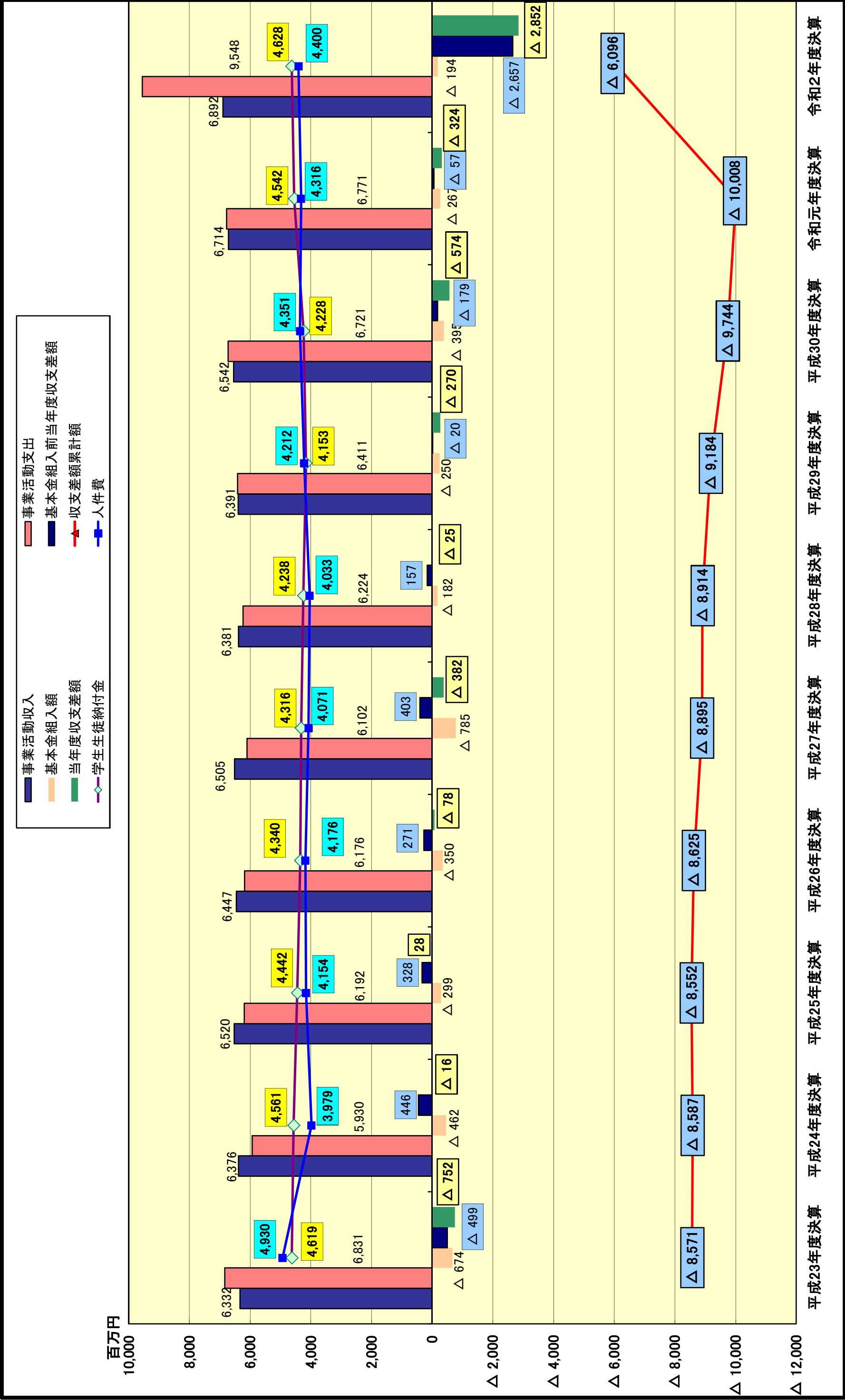
図表4 管理経費の推移



図表5 事業活動収支の推移



図表6 平成23年度～令和2年度年度別事業活動(旧消費)収支計算推移表



(3)貸借対照表の推移(平成28年度～令和2年度)

(単位:千円)

資 産 の 部						
科 目		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
固 定 資 産		20,562,116	20,464,700	20,372,636	20,171,315	17,409,361
	有 形 固 定 資 産	16,927,650	16,742,135	16,683,038	16,412,081	13,975,944
	う ち 、 土 地	3,017,379	3,017,379	3,017,379	3,017,379	2,494,546
	う ち 、 建 物	10,374,981	10,186,506	10,075,189	9,784,962	9,349,350
	う ち 、 構 築 物	291,944	286,039	273,845	262,230	280,140
	うち、教育研究用機器備品	514,910	506,919	558,843	567,694	710,472
	う ち 、 図 書	2,682,812	2,692,983	2,696,393	2,678,773	1,040,869
	その他の有形固定資産	45,624	52,309	61,390	101,044	100,567
	特 定 資 産	3,609,237	3,689,370	3,656,370	3,698,370	3,361,370
そ の 他 の 固 定 資 産	25,229	33,195	33,228	60,864	72,048	
流 動 資 産		3,989,686	4,073,081	4,035,435	3,924,905	4,672,196
	う ち 、 現 金 ・ 預 金	3,844,151	3,877,124	3,754,127	3,723,252	4,485,672
	う ち 、 有 価 証 券	0	0	0	0	0
	そ の 他	145,535	195,957	281,308	201,653	186,524
資 産 の 部 合 計		24,551,801	24,537,782	24,408,071	24,096,220	22,081,557

負 債 の 部						
科 目		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
固 定 負 債		1,952,777	1,846,672	1,708,978	1,631,660	1,528,678
	う ち 、 長 期 借 入 金	0	0	0	0	0
	う ち 、 学 校 債	526,600	505,800	454,620	416,420	423,620
	うち、退 職 給 与 引 当 金	1,399,342	1,310,542	1,203,812	1,151,358	1,039,379
	そ の 他	26,834	30,330	50,546	63,882	65,679
流 動 負 債		1,148,906	1,260,941	1,447,725	1,270,363	2,015,358
	う ち 、 短 期 借 入 金	0	0	0	0	0
	う ち 、 前 受 金	496,093	412,417	493,170	462,816	478,509
	そ の 他	652,813	848,524	954,556	807,548	1,536,849
負 債 の 部 合 計		3,101,683	3,107,613	3,156,703	2,902,023	3,544,036

純 資 産 の 部						
科 目		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
基本金		30,363,713	30,613,783	30,995,505	31,202,291	24,633,791
ア	第 1 号 基 本 金	29,803,343	30,053,413	30,435,135	30,641,921	24,073,421
イ	第 2 号 基 本 金	0	0	0	0	0
ウ	第 3 号 基 本 金	124,370	124,370	124,370	124,370	124,370
エ	第 4 号 基 本 金	436,000	436,000	436,000	436,000	436,000
繰越収支差額		△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270
	翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 8,913,594	△ 9,183,614	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270
純 資 産 の 部 合 計		21,450,119	21,430,169	21,251,368	21,194,197	18,537,521

科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	24,551,801	24,537,782	24,408,071	24,096,220	22,081,557

(参考)

科 目	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
減 価 償 却 の 累 計 額 の 合 計 額	12,870,831	13,311,315	13,787,864	14,258,473	10,519,688	S
減 価 償 却 資 産 取 得 価 額	24,115,563	24,363,589	24,736,213	24,950,361	20,938,863	T
基 本 金 未 組 入 額	20,351	33,215	68,979	94,022	498,202	U
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	1,500,000	1,500,000	1,300,000	1,300,000	1,200,000	V
退 職 給 与 引 当 金	1,399,342	1,310,542	1,203,812	1,151,358	1,039,379	W

(4)財務比率表の推移(平成28年度～令和2年度)

区 分				28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事業活動収支計算関係比率	比率	算式(×100)						
	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑤}}{\text{④} + \text{⑩}}$	64.7%	66.1%	66.8%	64.5%	64.2%
	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	$\frac{\text{⑤}}{\text{①}}$	95.2%	101.4%	102.9%	95.0%	95.1%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑥}}{\text{④} + \text{⑩}}$	24.9%	26.1%	27.1%	27.2%	35.5%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑦}}{\text{④} + \text{⑩}}$	10.1%	8.3%	9.1%	9.1%	10.1%
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑪}}{\text{④} + \text{⑩}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{⑬}}{\text{⑮}}$	2.5%	-0.3%	-2.7%	-0.9%	-38.5%
	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	$\frac{\text{⑲}}{\text{⑮} - \text{⑰}}$	100.4%	104.4%	109.3%	105.0%	142.6%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{①}}{\text{④} + \text{⑩}}$	68.0%	65.2%	64.9%	67.9%	67.5%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{②} + \text{⑭}}{\text{⑮}}$	3.8%	2.4%	1.8%	1.6%	1.5%
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{②}}{\text{④} + \text{⑩}}$	2.0%	2.4%	1.8%	1.5%	1.5%
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{③} + \text{⑮}}{\text{⑮}}$	21.3%	22.3%	21.8%	21.3%	22.0%
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{③}}{\text{④} + \text{⑩}}$	21.4%	22.2%	21.5%	21.1%	21.7%
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	$\frac{\text{⑰}}{\text{⑮}}$	2.9%	3.9%	6.0%	4.0%	2.8%
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	$\frac{\text{⑳}}{\text{⑧} + \text{⑫}}$	8.6%	8.3%	8.2%	8.8%	8.2%
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	$\frac{\text{⑬}}{\text{④} + \text{⑩}}$	0.3%	-0.4%	-3.1%	-0.8%	-9.7%
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	$\frac{\text{⑨}}{\text{④}}$	-0.2%	-0.8%	-3.3%	-1.1%	-10.1%

(注記)

小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを記入。

区 分				28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
貸 借 対 照 表	比率	算式(×100)						
	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{A}{G}$	83.7%	83.4%	83.5%	83.7%	78.8%
	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{B}{G}$	68.9%	68.2%	68.4%	68.1%	63.3%
	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{C}{G}$	14.7%	15.0%	15.0%	15.3%	15.2%
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{D}{G}$	16.3%	16.6%	16.5%	16.3%	21.2%
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{H}{R}$	8.0%	7.5%	7.0%	6.8%	6.9%
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{J}{R}$	4.7%	5.1%	5.9%	5.3%	9.1%
	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産 - 総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{(E+C+F)-L}{G}$	17.7%	18.2%	17.4%	18.8%	19.5%
	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産 - 外部負債}}{\text{経常支出}}$	$\frac{(E+C+F)-(L-K-I)}{\text{⑧} + \text{⑫}}$	100.5%	96.6%	88.7%	91.0%	77.4%
	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{Q}{R}$	87.4%	87.3%	87.1%	88.0%	84.0%
	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債 + 純資産}}$	$\frac{P}{R}$	-36.3%	-37.4%	-39.9%	-41.5%	-27.6%
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	$\frac{A}{Q}$	95.9%	95.5%	95.9%	95.2%	93.9%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産 + 固定負債}}$	$\frac{A}{Q+H}$	87.9%	87.9%	88.7%	88.4%	86.8%
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{D}{J}$	347.3%	323.0%	278.7%	309.0%	231.8%
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{L}{G}$	12.6%	12.7%	12.9%	12.0%	16.0%
	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	$\frac{L}{Q}$	14.5%	14.5%	14.9%	13.7%	19.1%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	$\frac{E}{K}$	774.9%	940.1%	761.2%	804.5%	937.4%
	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	$\frac{V}{W}$	107.2%	114.5%	108.0%	112.9%	115.5%
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	$\frac{M}{M+U}$	99.9%	99.9%	99.8%	99.7%	98.0%
	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	$\frac{S}{T}$	53.4%	54.6%	55.7%	57.1%	50.2%
	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	$\frac{E+C+F}{S+I+N+O}$	51.8%	51.3%	49.0%	47.8%	67.2%